

第2期川越市子ども・子育て支援事業計画  
令和4年度達成状況及び計画達成状況

令和5年 月現在

川越市子ども未来部子ども政策課

## 《目次》

1. 第2期川越市子ども・子育て支援事業計画体系図	1
2. 達成状況総括表	2
3. 事業計画・重点・未来該当事業の達成状況	3～6
4. 事業別達成状況等	7～24
5. 教育・保育の量の見込みと確保方策実績	25～27
6. 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策実績	28～29
7. 時間外保育事業（延長保育事業）の量の見込みと確保方策実績	30
8. 放課後児童健全育成事業（学童保育事業）の量の見込みと確保方策実績	31～34
9. 地域子育て支援拠点事業の量の見込みと確保方策実績	35～37

# 1. 第2期川越市子ども・子育て支援事業計画体系図

[ 基本理念 ]

[ 視点 ]

[ 基本目標 ]

[ 施策目標 ]

安心して子育てができるまち川越

3 すべての子どもが夢や希望を持ち成長できるための支援  
 ライフステージに応じた子どもの利益の尊重と生きる力の獲得  
 2 地域社会全体による子育て・親育ちへの支援

1 妊娠期からの切れ目ない支援と親子のふれあいの機会の充実

(1) 切れ目ない支援による子どもと親の健康の確保・増進

(2) 愛情を育む親子のふれあいの機会の充実

2 幼児期の教育・保育の充実と保護者への支援

(1) 教育・保育の充実と質的向上

(2) 多様な保育事業の推進

(3) 子育て支援サービスの充実

3 心身の健やかな成長に資する教育環境の整備

(1) 学校教育の充実

(2) 健やかな成長のための保健対策の推進

(3) 家庭や地域による教育力の向上

(4) 放課後の子どもの居場所づくり

4 地域と社会で子育てを支える環境づくり

(1) 少子化対策の推進と次代の親の育成

(2) 子どもの健全育成の取組と若者への支援

(3) 安全・安心なまちづくり

(4) 多文化共生の推進

5 すべての子どもの未来をつくる取組の推進

(1) 子育て家庭の自立等への支援

(2) 子どもの可能性を支える取組の推進

(3) 子どもを虐待から守る取組の推進

(4) 障害児施策の充実と支援体制整備の推進

## 2. 達成状況総括表

【達成状況(単年度)】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:事業実績なし E:事業終了  
 【達成状況(計画)】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:事業実績なし e:事業終了

(単位:千円)

基本目標・施策目標	事業数	評価数	R4達成状況					計画達成状況					R2	R3	R4	R5	R6
			A	B	C	D	E	a	b	c	d	e	予算・決算 上段:予算 下段:決算	予算・決算 上段:予算 下段:決算	予算・決算 上段:予算 下段:決算	予算・決算 上段:予算 下段:決算	予算・決算 上段:予算 下段:決算
基本目標1 妊娠期からの切れ目ない支援と親子のふれあいの機会の充実	26	26	20	5	1	0	0	20	5	1	0	0	2,206,676	2,139,151	2,914,020		
施策目標			77%	19%	4%	0%	0%	77%	19%	4%	0%	0%	1,979,656	2,040,392	2,219,141		
(1) 切れ目ない支援による子どもと親の健康の確保・増進	20	20	15	4	1	0	0	15	4	1	0	0					
(2) 愛情を育む親子のふれあいの機会の充実	6	6	5	1	0	0	0	5	1	0	0	0					
基本目標2 幼児期の教育・保育の充実と保護者への支援	31	31	17	3	6	4	1	19	3	7	1	1	3,050,289	2,250,118	2,240,473		
施策目標			55%	10%	19%	13%	3%	61%	10%	23%	3%	3%	2,811,752	2,052,322	2,123,870		
(1) 教育・保育の充実と質的向上	14	14	9	0	1	4	0	11	0	2	1	0					
(2) 多様な保育事業の推進	10	10	5	2	3	0	0	5	2	3	0	0					
(3) 子育て支援サービスの充実	7	7	3	1	2	0	1	3	1	2	0	1					
基本目標3 心身の健やかな成長に資する教育環境の整備	22	25	14	7	2	1	1	12	8	3	1	1	1,061,495	1,067,361	1,238,817		
施策目標			56%	28%	8%	4%	4%	48%	32%	12%	4%	4%	984,352	969,534	1,134,873		
(1) 学校教育の充実	6	6	2	4	0	0	0	2	3	1	0	0					
(2) 健やかな成長のための保健対策の推進	3	6	5	1	0	0	0	5	1	0	0	0					
(3) 家庭や地域による教育力の向上	7	7	3	1	1	1	1	1	3	1	1	1					
(4) 放課後の子どもの居場所づくり	6	6	4	1	1	0	0	4	1	1	0	0					
基本目標4 地域と社会で子育てを支える環境づくり	25	26	22	0	4	0	0	18	2	5	1	0	141,193	209,193	140,480		
施策目標			85%	0%	15%	0%	0%	69%	8%	19%	4%	0%	95,802	198,669	110,243		
(1) 少子化対策の推進と次代の親の育成	11	11	11	0	0	0	0	10	1	0	0	0					
(2) 子どもの健全育成の取組と若者への支援	6	6	3	0	3	0	0	3	0	3	0	0					
(3) 安全・安心なまちづくり	5	6	5	0	1	0	0	5	0	1	0	0					
(4) 多文化共生の推進	3	3	3	0	0	0	0	0	1	1	1	0					
基本目標5 すべての子どもの未来をつくる取組の推進	46	46	28	6	8	3	1	28	8	7	2	1	14,831,778	14,792,290	14,514,722		
施策目標			61%	13%	17%	7%	2%	61%	17%	15%	4%	2%	14,502,724	14,223,400	13,733,310		
(1) 子育て家庭の自立等への支援	15	15	11	1	1	2	0	11	1	1	2	0					
(2) 子どもの可能性を支える取組の推進	7	7	3	0	3	1	0	4	1	2	0	0					
(3) 子どもを虐待から守る取組の推進	11	11	7	2	2	0	0	6	3	2	0	0					
(4) 障害児施策の充実と支援体制整備の推進	13	13	7	3	2	0	1	7	3	2	0	1					
【合計】 評価数＝事業所管課数(1事業複数所管課含む) 達成状況(5段階評価)は、各所管課で評価を行っています。	150	154	101	21	21	8	3	97	26	23	5	3	21,291,431	20,458,113	21,048,511		
			66%	14%	14%	5%	2%	63%	17%	15%	3%	2%	20,374,286	19,484,317	19,321,437		

### 3. 事業計画・重点・未来該当事業の達成状況

【事業計画】…教育・保育や地域子ども・子育て支援事業に関する事業

【重点】…施策目標ごとに重点的に取り組む事業(すべての重点事業に目標事業量を設定している。)

【未来】…子どもの貧困に関する事業

【新規】…第2期計画から追加された事業

【達成状況(単年度)】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:事業実績なし E:事業終了

基本 目標	施策 目標	No.	事業名	事業 計画	重点	未来	達成状況		遅れている理由 新型コロナウイルス感染症の影響	担当課
							R	4		
1	(1)	1	乳幼児健診		○			A		健康づくり支援課
1	(1)	2	乳児家庭全戸訪問事業	○	○	○		A		健康づくり支援課
1	(1)	4	産後ケア事業			○		A		健康づくり支援課
1	(1)	5	子育て世代包括支援センター			○	○	A		健康づくり支援課
1	(1)	6	利用者支援事業(母子保健型)	○				A		健康づくり支援課
1	(1)	8	妊婦健康診査	○				B	妊婦数の減少に伴い、助成総数が減少したものの新型コロナウイルス感染症の影響により、妊婦の受診控え等が考えられる。	健康づくり支援課
1	(1)	13	家庭訪問型子育て支援事業(ホームスタート)		○			C	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、訪問について、利用時間や活動内容の制限等を行ったことから、利用者数が少なかったため。	こども育成課
1	(2)	1	地域子育て支援拠点事業	○	○			A		こども育成課
1	(2)	6	産前・産後サポート事業		○	○		A		健康づくり支援課
2	(1)	1	通常保育事業	○	○			A		こども政策課 保育課
2	(1)	3	保育士研修		○			A		保育課
2	(1)	4	認定こども園の推進	○				A		こども政策課 保育課
2	(1)	5	幼稚園事業の推進	○				A		こども政策課 保育課
2	(1)	7	地域型保育事業	○				D	令和4年度方針として新たな認可を実施しないこととなったため。	こども政策課 保育課
2	(1)	8	多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業	○				D	本事業の対象となる新規事業者等がなかったため。	こども政策課 保育課
2	(1)	9	未就学児に対する食育の推進		○			C	継続して事業を実施し、食から乳幼児期の健全な成長発達を促す。	保育課 健康づくり支援課
2	(2)	1	時間外保育事業(延長保育事業)	○				A		保育課
2	(2)	3	保育所等における一時預かり事業	○	○			A		保育課
2	(2)	4	幼稚園等における一時預かり・預かり保育事業	○	○			B	コロナ禍による影響が縮小され、無償化により潜在的なニーズの掘り起こしも見られたが、目標値までの伸びが足りなかったため。	保育課
2	(2)	6	病児保育事業	○				C	新型コロナウイルス感染拡大に伴う利用の自粛等により、利用者数が減少したため。	こども育成課
2	(2)	7	ファミリー・サポート・センター事業	○				C	新型コロナウイルス感染拡大に伴う利用の自粛等により、利用者数が減少したため。	こども育成課

【事業計画】…教育・保育や地域子ども・子育て支援事業に関する事業

【重点】…施策目標ごとに重点的に取り組む事業(すべての重点事業に目標事業量を設定している。)

【未来】…子どもの貧困に関する事業

【新規】…第2期計画から追加された事業

【達成状況(単年度)】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:事業実績なし E:事業終了

基本 目標	施策 目標	No.	事業名	事業計画			達成状況		遅れている理由 新型コロナウイルス感染症の影響	担当課
				重点	未来		R	4		
2	(2)	8	子育て短期支援事業	○			C	新型コロナウイルス感染症の影響下においても、感染予防対策を講じたうえで事業を継続したが、トワイライトステイ事業及びショートステイ事業の利用件数が伸びなかったため。	こども家庭課	
2	(3)	1	利用者支援事業(基本型・特定型)	○	○		B	今後の地域子育て支援拠点事業の整備等に合わせて設置箇所等の検討を行っていくため。	こども育成課 保育課	
2	(3)	2	子育て情報の発信		○		A		こども政策課	
3	(1)	1	オールマイティーチャーター配置事業		○		B	予算の範囲内で事業を実施したが、目標としていた配置校数に至らなかったため。	学校管理課	
3	(1)	2	教育相談・就学相談事業		○	○	B	新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、臨時の就学相談の回数が増えてしまったため。また、スクールソーシャルワーカーの活用について各学校に周知しているが、目標値に届かなかったため。	教育センター	
3	(2)	1	小・中学校における食育の推進		○		A		教育指導課 学校給食課 教育センター	
3	(2)	1	小・中学校における食育の推進		○		A		学校給食課	
3	(2)	1	小・中学校における食育の推進		○		A		教育センター	
3	(3)	1	中学生社会体験事業	○	○		D	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、中学生社会体験事業を中止としたため。	教育指導課	
3	(3)	6	コミュニティ・スクール			○	A		学校管理課	
3	(3)	7	地域子どもサポート推進事業		○	○	C	コロナ禍に即した活動の検討を進め、実施形態等を変更しての事業の実施を試みた結果、各地区の子どもサポート委員会において多くの事業の中止、または縮小実施となったため。	地域教育支援課	
3	(4)	1	放課後児童健全育成事業	○	○		A		教育財務課 こども育成課	
3	(4)	4	子どもの居場所づくりの推進		○		C	令和4年度から始まり、現在の居場所の運営の安定に注力している。目標値への居場所の増設には、会場となりえる公民館等との調整が必要だが、その事務を進められなかったため。	こども育成課	
4	(1)	5	ワーク・ライフ・バランス推進事業		○		A		男女共同参画課 雇用支援課	
4	(2)	1	青少年を育てる市民会議		○		C	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、各地区で中止した事業が多かったため。	こども育成課	

【事業計画】…教育・保育や地域子ども・子育て支援事業に関する事業

【重点】…施策目標ごとに重点的に取り組む事業(すべての重点事業に目標事業量を設定している。)

【未来】…子どもの貧困に関する事業

【新規】…第2期計画から追加された事業

【達成状況(単年度)】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:事業実績なし E:事業終了

基本 施策 目標	No.	事業名	事業 計画	重 点	未 来	達成状況	遅れている理由 新型コロナウイルス感染症の影響	担当課	
						R 4			
4 (3)	2	交通安全教室			○	C	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校等で交通安全教室が中止となったため。	防犯・交通安全課	
4 (4)	1	日本語教室			○	A		国際文化交流課	
5 (1)	2	児童扶養手当			○	A		こども家庭課	
5 (1)	5	ひとり親家庭相談			○	A		こども家庭課	
5 (1)	6	ひとり親家庭等日常生活支援事業			○	D	利用に係る相談はなかったが、引き続き、支援が必要なひとり親家庭に支援員を派遣し、当該家庭の自立と福祉の増進を図るとともに、ニーズの把握と制度の周知を図る。また、利用実績がない状況であるため、セーフティネットとしての役割を考慮した上で、事業の見直しを図っていく。	こども家庭課	
5 (1)	7	母子父子寡婦福祉資金貸付事業			○	A		こども家庭課	
5 (1)	8	母子家庭等就業・自立支援センター事業			○	A		こども家庭課	
5 (1)	9	ひとり親家庭等生活向上事業			○	D	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度に引き続き令和4年度も事業を中止としたため。	こども家庭課	
5 (1)	10	自立支援給付金事業			○	A		こども家庭課	
5 (1)	11	母子・父子自立支援プログラム策定等事業			○	A		こども家庭課	
5 (1)	12	公営住宅における優遇登録			○	A		建築住宅課	
5 (1)	13	母子家庭等地域生活支援事業			○	B	養育費に関する相談については、法テラス等の専門機関を紹介しており、ひとり親家庭相談と一体的に実施する方策については、検討中であるため。	こども家庭課	
5 (1)	14	生活困窮者自立支援事業			○	○	C	社会福祉協議会が行っている総合支援資金の新型コロナ特例貸付において自立相談支援制度の利用が条件となっているため、支援対象者が前年同様多かった(R2年度対象者69人→R3年度151人→R4年度111人)。貸付のために形式的に利用する支援対象者は、就労・増収が目的ではないため、就労・増収率は目標を下回ったままだが、前年と比較すると回復傾向にある。	生活福祉課
5 (1)	15	生活保護事業			○	A		生活福祉課	
5 (2)	1	ひとり親家庭等学習支援事業			○	○	C	新型コロナウイルス感染症の影響がある中、ひとり親家庭等の児童に対する学習支援や進学相談等を実施し、基礎学力の向上及び高校進学等により、ひとり親家庭等の自立の促進に努めたが、利用人数は見込みを下回った。	こども家庭課

【事業計画】…教育・保育や地域子ども・子育て支援事業に関する事業

【重点】…施策目標ごとに重点的に取り組む事業(すべての重点事業に目標事業量を設定している。)

【未来】…子どもの貧困に関する事業

【新規】…第2期計画から追加された事業

【達成状況(単年度)】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:事業実績なし E:事業終了

基本 目標	施策 目標 No.	事業名	事業 計画	重 点	未 来	達成状況	遅れている理由 新型コロナウイルス感染症の影響	担当課	
						R 4			
5	(2)	2	川越市生活困窮者学習・生活支援事業		○	○	C	目標値を下回った要因は、対象となる母子世帯が減少傾向にあること、新型コロナウイルス感染症の影響により対象世帯が利用を控えたことが考えられる。	生活福祉課
5	(2)	3	ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業			○	D	令和4年度中の利用実績はなかったが、引き続き、ひとり親家庭の父母及び寡婦の自立とその児童の福祉を増進するため、必要な方に給付金を支給していく	こども家庭課
5	(2)	4	高等教育機関等における修学への支援			○	A		教育総務課
5	(2)	5	準要保護児童生徒に対する就学援助 実費徴収に係る補足給付を行う事業			○	A		教育財務課
5	(2)	6			○	○	C	副食費の補足給付の対象となった児童について概ね申請がされたものの、目標値まで届かなかった。なお、本事業は実績が多ければよいという性質の事業ではないが、生活保護受給世帯等の真に支援が必要な世帯が保育等を円滑に利用できるよう、引き続き、事業の周知を図ってまいりたい。	保育課
5	(2)	7	子供の未来応援地域ネットワーク形成支援事業			○	A		こども政策課
5	(3)	1	要保護児童対策地域協議会			○	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、研修の開催を見合わせたため。	こども家庭課
5	(3)	2	児童虐待防止の啓発活動			○	A		こども家庭課
5	(3)	4	養育支援訪問事業		○	○	C	実績値については他律的なもので、新型コロナウイルス感染症の影響もあったことから、未達となったが、訪問相談やヘルパー派遣の提供体制を確保できていると考えている。	こども家庭課
5	(3)	5	子ども家庭総合支援拠点の整備・運営			○	A		こども家庭課
5	(4)	1	児童発達支援センターの運営			○	A		療育支援課
5	(4)	2	障害児通所支援事業の充実			○	C	引き続き、提供事業所を充実させるよう、各事業者等に情報提供、相談及び助言等の支援を行っていく。	療育支援課

#### 4. 事業別達成状況等

【事業計画】…教育・保育や地域子ども・子育て支援事業に関する事業  
 【重点】…施策目標ごとに重点的に取り組む事業(すべての重点事業に目標事業量を設定している。)  
 【未来】…子どもの貧困に関する事業  
 【新規】…第2期計画から追加された事業

【達成状況(単年度)】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:事業実績なし E:事業終了  
 【達成状況(計画)】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:事業実績なし e:事業終了

基本 目標 No.	事業名	新規	重点	未来	目標 事業量	現状値 (H30)	実績値 (R4)	目標値	達成状況						実績評価 (事業内容)	R4 予算現額 (円)	R4 決算額 (円)	方向性 (課題・予定等)	担当課
									R	R	R	R	R	計					
1 (1)	1 乳幼児健診			○	受診率	4か月 95.2% 1歳半 95.6% 3歳 93.5%	4か月 93.6% 1歳半 97.5% 3歳 94.8%	4か月 96% 1歳半 97% 3歳 95%	A	A	A	a			3,200,690	3,129,041	今後も継続して事業を実施し、子どもの健全発育と保護者の育児不安の解消を図っていく。	健康づくり支援課	
1 (1)	2 乳児家庭全戸訪問事業		○	○	訪問件数	2,445	2,158	2,359	A	A	A	a			5,374,556	5,025,312	今後も、継続して事業を実施し、育児不安の解消が図れるよう支援していく。	健康づくり支援課	
1 (1)	3 乳幼児訪問指導				-	-	-	-	A	A	A	a			0	0	今後も、継続して事業を実施し、育児不安の解消が図れるよう支援していく。	健康づくり支援課	
1 (1)	4 産後ケア事業			○	延べ利用者数	37	96	40	C	A	A	a			1,806,292	1,044,357	産後4か月未満の母子に対して、医療機関等への宿泊により心身のケアや育児サポート等のきめ細かな支援を実施した。また、出産後、育児や授乳に不安がある母子を対象に、助産院に通所による支援を実施した。きめ細かな支援を実施することで、育児不安の解消や母子の孤立化、児童虐待の予防を図った。	健康づくり支援課	
1 (1)	5 子育て世代包括支援センター			○	開設箇所数	3	4	5	A	A	A	a			0	0	今後も、各利用者支援事業の連携を強化し、妊娠から子育て期にわたる切れ目のない支援を行っていく。	健康づくり支援課	
1 (1)	6 利用者支援事業(母子保健型)		○		開設箇所数	1	2	2	A	A	A	a			1,702,705	1,854,422	妊娠から子育て期にわたる様々な悩み等に対応するため、母子保健コーディネーターを配置し、相談・助言を行うとともに、関係機関との連携により、妊娠から子育て期にわたり、切れ目のない支援体制を構築した。令和5年2月から開始した出産・子育て応援事業に係る「伴走型相談支援」の実施に伴い、母子保健コーディネーターを増員し、相談支援の充実を図った。	健康づくり支援課	
1 (1)	7 母子健康手帳の交付				-	-	-	-	A	A	A	a			653,400	414,920	妊娠の届出をした妊婦に対し、妊娠・出産の経過や子どもの健診記録等の成長記録となる母子健康手帳を交付した。【妊娠届出件数】 2,151件 【母子健康手帳交付数】 2,209件	健康づくり支援課	
1 (1)	8 妊婦健康診査		○		延べ助成回数	30,522	25,526	29,417	A	A	B	b			219,396,990	193,306,786	必要とされる健診回数及び、医学的検査の費用の一部を助成することで、妊婦健診の受診の勧奨、経済的不安の解消をすることができた。	健康づくり支援課	
1 (1)	9 マタニティスクール				実施回数	6	9	6	B	A	A	a			0	0	妊婦とその夫等を対象にした教室で、妊娠・出産育児についての正しい知識を普及し、妊娠中の不安の解消と父親の育児参加を支援した。子育て情報誌「こえどちゃん」を講義資料として活用し、子育てがイメージしやすい工夫した。	健康づくり支援課	

#### 4. 事業別達成状況等

【事業計画】…教育・保育や地域子ども・子育て支援事業に関する事業

【重点】…施策目標ごとに重点的に取り組む事業(すべての重点事業に目標事業量を設定している。)

【未来】…子どもの貧困に関する事業

【新規】…第2期計画から追加された事業

【達成状況(単年度)】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:事業実績なし E:事業終了

【達成状況(計画)】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:事業実績なし e:事業終了

基本 目標 No.	事業名	新規	重点	未来	目標 事業量	現状値 (H30)	実績値 (R4)	目標値	達成状況						実績評価 (事業内容)	R4 予算現額 (円)	R4 決算額 (円)	方向性 (課題・予定等)	担当課
									R	R	R	R	R	計					
1 (1) 10	離乳食教室				-	-	-	-	D	A	A		a	月齢に応じた離乳食の進め方についての講義を実施した。	30,280	2,683	今後も継続して事業を実施し、離乳食についての知識の普及啓発を行い、不安の解消を図る。	健康づくり支援課	
1 (1) 11	乳幼児相談				開催回数	30	49	30	B	A	A		a	新型コロナウイルス感染症の影響により、予約制で相談を実施した。	0	0	今後も継続して事業を実施し、子どもの健全育成と保護者の育児不安の解消を図っていく。	健康づくり支援課	
1 (1) 12	発育・発達相談				-	-	-	-	A	A	A		a	成長や精神・運動発達に心配がある乳幼児を対象に診察・相談を行い、発育・発達を支援するとともに、親の不安解消につなげた。	0	0	継続して実施し、児童発達支援センター等関係機関とも連携し、乳幼児の成長・発達を支援するとともに、保護者の不安の解消を図る。	健康づくり支援課	
1 (1) 13	家庭訪問型子育て支援事業(ホームスタート)	○		○	利用家庭数	80	43	90	C	C	C		c	身近に相談できる方がいないなど、支援を受けることが適当と判断される6歳以下の未就学児を持つ家庭を対象として、研修を受けた家庭訪問型子育て支援ボランティアが、週に1回2時間程度訪問し子育て支援を行った。 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、訪問について、利用時間や活動内容の制限等を行ったことから、利用者数が少なかったため目標未達となっている。	2,930,850	2,348,269	子育てにおける不安感や孤立感の解消を図るため、支援が必要な家庭に対して、訪問活動を実施していく。令和5年度以降も引き続き事業周知に努めるとともに、訪問ボランティアの養成を行い、サービス提供体制を確保していく。	こども育成課	
1 (1) 14	こども医療費の助成			○	-	-	-	-	A	A	A		a	医療費の一部を支給することにより、子どもが必要とする医療を容易に受けられるようにし、子どもの健康の向上と福祉の増進を図ることができた。	1,178,660,000	1,135,643,279	子どもが必要とする医療を容易に受けられるようにし、子どもの健康の向上と福祉の増進を図るために、引き続き医療費の一部を支給する。 また、子育て世代のさらなる負担軽減のため、令和6年度から対象を15歳年度末から18歳年度末まで拡大する予定。	こども政策課	
1 (1) 15	夜間休日診療事業(小児)				-	-	-	-	A	A	A		a	夜間休日診療所を運営する川越市医師会等に対し、運営費の一部を補助し、休日及び夜間における初期救急医療を確保することができた。	26,500,000	26,500,000	川越市医師会夜間休日診療所において、休日及び夜間に軽症の救急患者の診療を実施する事業に対し、必要な補助を行う。 休日及び夜間における初期救急医療を確保できており、引き続き、計画達成に向けて努める。	保健医療推進課	
1 (1) 16	子どもの予防接種	○			-	-	-	-	A	A	A		a	子どもを感染症から守るため、予防接種法に基づき、乳幼児や児童等が受ける定期予防接種を実施します。	1,288,710,350	684,038,230	法令に基づく事業のため、令和5年度以降も継続して実施する。	健康管理課	
1 (1) 17	妊娠を希望する女性等への風しん予防接種	○			-	-	-	-	A	A	A		a	生まれてくる子どもを先天性風しん症候群から守るため、妊娠を希望する女性やそのパートナー等で、風しんの抗体価が低い方を対象に予防接種の費用を助成します。	2,549,450	1,746,640	令和5年度以降も当事業を継続して実施することとし、対象者の経済的負担の軽減を図り、安心して子どもが産める環境を整備する。	健康管理課	
1 (1) 18	幼児のむし歯予防推進事業				-	-	-	-	B	B	B		b	歯科口腔保健事業に係る関係機関等と連携し、フッ化物を応用したむし歯予防事業や乳幼児健診等での啓発活動を実施し、歯科口腔保健の推進を図った。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業を縮小して実施した。	5,291,000	4,742,000	継続して、幼児へのむし歯予防の啓発や、保護者に対し歯と口の健康づくりの推進を図る。また、全保育施設でのフッ化物洗口事業実施のため、未実施施設に対して説明を行い、周知を図る。	健康づくり支援課	
1 (1) 19	歯科健診・歯科保健指導等の実施				-	-	-	-	B	B	B		b	乳幼児を対象に月齢に応じた歯科健診、歯科保健指導等の事業を実施し、むし歯予防を含めた歯科口腔保健の推進を図った。	2,475,230	2,044,863	継続して事業を実施し、幼児のむし歯予防等の推進を図る。	健康づくり支援課	

#### 4. 事業別達成状況等

【事業計画】…教育・保育や地域子ども・子育て支援事業に関する事業

【重点】…施策目標ごとに重点的に取り組む事業(すべての重点事業に目標事業量を設定している。)

【未来】…子どもの貧困に関する事業

【新規】…第2期計画から追加された事業

【達成状況(単年度)】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:事業実績なし E:事業終了

【達成状況(計画)】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:事業実績なし e:事業終了

基本 目標 No.	事業名	新規	重点	未来	目標 事業量	現状値 (H30)	実績値 (R4)	目標値	達成状況						実績評価 (事業内容)	R4 予算現額 (円)	R4 決算額 (円)	方向性 (課題・予定等)	担当課
									R	R	R	R	R	計					
1 (1) 20	妊産婦歯科健診				-	-	-	-	C	C	B			b	128,340	114,080	継続して事業を実施し、妊娠中に起きやすい歯科疾患の予防につなぐとともに、産婦の歯と口の健康づくりの推進を図る。	健康づくり支援課	
1 (2) 1	地域子育て支援拠点事業	○	○		設置箇所数	24	24	26	A	A	A			a	170,529,150	153,809,594	川越市子育て支援センター(川越市子育て安心施設内)を当事業の統括的な役割に位置付け、川越市地域子育て支援拠点事業実務者会議の開催や施設訪問を通して、業務委託先の法人子育て支援拠点施設に対し、当事業の方向性を示し、利用率の向上に向けて、適切な改善策をともに検討することで、広場の質の底上げを図る。また、多様な子育て家庭のニーズに応じた支援を充実させ、地域における子育て支援の強化を図っていく。 市内にバランス良く拠点施設を配置する計画としており、現在拠点施設の無い地区に配置できるよう努める。	こども育成課	
1 (2) 2	子育てサロン事業				実施館数	17	18	18	B	A	A			a	1,547,500	1,496,000	非常時の対応により1講座が一部中止となったが、企画した25講座すべて実施することができた。全18館で実施することができた。 周囲の感染状況を見ながら、事業の広報・周知に努め、子育て世代の情報交換・交流の場としての認知度を高めていく。 子育て中の保護者を対象に、育児に関する情報や親子で楽しむプログラムを提供し、乳幼児を健やかに育む機会を引き続き提供する。	中央公民館	
1 (2) 3	子育てサポーター養成講座				-	-	-	-	D	A	A			a	128,500	95,000	令和2年度は非常時の対応により中止、令和3年度はリモートで1講座のみの実施であったが、令和4年度は感染リスクに配慮するとともに、加えて、館によっては託児対応をとるなどして4講座実施することができた。 周囲の感染状況を見ながら、地域の子育てを支援する子育てサポーターを養成するため、講座を開催する際の広報に努め、引き続き実施していく。	中央公民館	
1 (2) 4	ブックスタート事業	○			4か月児健診対象者の内実施した割合	94%	97%	95%	B	A	A			a	1,778,881	1,160,416	すべての乳児とその保護者を対象に、親子と一緒に絵本を開くという体験を通じて、ふれあいを深める機会を提供しているが、新型コロナ対策感染症拡大防止のため、対面式を中止し、書面にて内容を記載して、配付資料とともに渡す方法に変更して実施した。10月より感染予防対策を講じて希望者に説明等を短縮して対面式を実施した。 令和4年度と同様に資料の配付を実施する。同時に感染予防対策を講じて希望者に説明等を短縮して対面式を実施する。	中央図書館	
1 (2) 5	長期療養児等育児支援				-	-	-	-	D	B	B			b	0	0	ダウン症児の親の交流を通じ、育児不安の軽減を図るため事前予約制にて開催した。 今後も、感染予防対策を徹底し、集団での事業を実施していく。	健康づくり支援課	
1 (2) 6	産前・産後サポート事業		○	○	実施回数	12	19	20	B	A	A			a	625,570	625,570	妊産婦等が抱える妊娠・出産や子育てに関する悩み等について、子育て経験者による相談や情報交換の場の提供により、相談支援を行った。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンライン(web会議システム)を利用したLIVE講座)を活用して実施した。 継続して事業を実施し、安心して妊娠・出産・育児に臨めるよう体制を整備していく。	健康づくり支援課	
2 (1) 1	通常保育事業	○	○		定員数	4,477	5,329	5,459	A	A	A			a	299,070,000	229,682,000	R4.4認定こども園を1園新設し、定員の拡大を図った。R5.4移行の認定こども園1園について認可を実施した。 待機児童の状況が改善されつつある中で、地域の保育ニーズ等を勘案し、保育需要とともに、今後の小学校就学前児童数の動向等を考慮しつつ、幼稚園から認定こども園への移行を中心に保育の必要量を確保していく。	こども政策課 保育課	

#### 4. 事業別達成状況等

【事業計画】…教育・保育や地域子ども・子育て支援事業に関する事業

【重点】…施策目標ごとに重点的に取り組む事業(すべての重点事業に目標事業量を設定している。)

【未来】…子どもの貧困に関する事業

【新規】…第2期計画から追加された事業

【達成状況(単年度)】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:事業実績なし E:事業終了

【達成状況(計画)】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:事業実績なし e:事業終了

基本 目標 No.	事業名	新規	重点	未来	目標 事業量	現状値 (H30)	実績値 (R4)	目標値	達成状況						実績評価 (事業内容)	R4 予算現額 (円)	R4 決算額 (円)	方向性 (課題・予定等)	担当課
									R	R	R	R	R	計					
2 (1) 2	認可外保育施設等の認可化支援				-	-	-	-	A	D	D		a	令和4年度方針として新たな認可を実施しないこととなったため。	0	0	今後の待機児童の状況等により支援の実施を調整する。	子ども政策課	
2 (1) 3	保育士研修		○		参加者数	2,166	3,010 ※動画の視聴回数	2,200	C	B	A		a	令和4年度は、より多くの保育士等が参加できるようYoutubeによる配信形式の研修を4回実施した。そのため、実績値は、動画の視聴回数による。	400,000	400,000	引き続き、より多くの保育士等が参加できるようYoutubeによる配信形式の研修を4回実施する方向で進めている。	保育課	
2 (1) 4	認定こども園の推進	○			-	-	-	-	A	A	A		a	幼稚園から認定こども園へ1園移行(R5.4開園)。幼稚園からの移行の相談に応じた。	0	0	地域の保育ニーズ等を勘案し、必要に応じ幼稚園からの移行を推進する。	子ども政策課 保育課	
2 (1) 5	幼稚園事業の推進	○			-	-	-	-	A	A	A		a	幼稚園の施設型給付対象施設への移行への相談に応じた。また、窓口で幼稚園の案内を配布するなど幼稚園入園希望者への情報提供を行った。	0	0	引き続き幼稚園から施設型給付対象施設への移行を支援するとともに、情報提供に努めていく。	子ども政策課 保育課	
2 (1) 6	幼稚園の耐震化の推進				耐震化未実施施設数	3	1	0	D	A	D		c	令和4年度は耐震化未実施の幼稚園1園に対し耐震化の実施希望を確認したものの実施予定無しとの回答であったため実績はなかった。	0	0	残る1園については園の意向について引き続き調査を継続していく。	保育課	
2 (1) 7	地域型保育事業	○			整備定員数	394	499	587	A	A	D		a	令和4年度方針として新たな認可を実施しないこととなったため。	0	0	今後の待機児童の状況により整備量を調整する。	子ども政策課 保育課	
2 (1) 8	多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業	○			-	-	-	-	D	D	D		d	本事業の対象となる新規事業者等がなかったため、実施に至らなかった。引き続き調査、研究を継続する。	0	0		子ども政策課 保育課	
2 (1) 9	未就学児に対する食育の推進		○		栄養教育実施回数	6	3	6	C	C	C		c	4か月児健診等の乳幼児健診において、乳幼児期の健全な成長発達を目指し、食事の大切さ等について啓発を行った。公立保育園の3・4・5歳児クラスにおいて、栄養教育を行った。	0	0	継続して事業を実施し、食から乳幼児期の健全な成長発達を促す。	保育課 健康づくり支援課	
2 (1) 10	人権保育の推進				-	-	-	-	A	A	A		a	令和4年度については、コロナ禍であったため人権講演会の開催は見送ったが、人権保育映画会の実施や人権啓発絵本を購入する等、人権保育の推進を図ることができた。	450,000	450,000	保育所において園児・保護者を対象に人権についての映画会や、講演会を実施し、人権についての啓発活動を支援していく。	保育課	
2 (1) 11	こどもの発達支援巡回事業				-	-	-	-	B	A	A		a	発達障害の専門的な知識を有する者が保育所等の求めに応じて巡回し、保育士等に対して必要な助言・指導を行った。【令和4年度実績】260件	0	0	市内の民間保育所等に通う子どもに対し、発達が「気になる」段階から早期支援が提供されるよう、引き続き、保育士等に対して必要な助言・指導を行う。	療育支援課	
2 (1) 12	認可外保育施設等への施設等利用給付	○			-	-	-	-	A	A	A		a	子ども・子育て支援法に基づき、適切に施設等利用給付の支給を実施した。	57,302,000	55,972,796	子育て世帯の負担軽減につながる事から、今後も継続して子ども・子育て支援法に基づき、適切に施設等利用給付の支給を実施する。	保育課	
2 (1) 13	幼稚園等への施設等利用給付	○			-	-	-	-	A	A	A		a	子ども・子育て支援法に基づき、適切に施設等利用給付の支給を実施した。	1,415,118,000	1,404,720,633	子育て世帯の負担軽減につながる事から、今後も継続して子ども・子育て支援法に基づき、適切に施設等利用給付の支給を実施する。	保育課	

#### 4. 事業別達成状況等

【事業計画】…教育・保育や地域子ども・子育て支援事業に関する事業

【重点】…施策目標ごとに重点的に取り組む事業(すべての重点事業に目標事業量を設定している。)

【未来】…子どもの貧困に関する事業

【新規】…第2期計画から追加された事業

【達成状況(単年度)】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:事業実績なし E:事業終了

【達成状況(計画)】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:事業実績なし e:事業終了

基本 目標	No.	事業名	新規	重点	未来	目標 事業量	現状値 (H30)	実績値 (R4)	目標値	達成状況						実績評価 (事業内容)	R4 予算現額 (円)	R4 決算額 (円)	方向性 (課題・予定等)	担当課
										R	R	R	R	R	計					
	2 (1) 14	幼保小連絡懇談会の実施				実施回数	2	2	2	D	A	A	a	459,000	388,050	令和5年度の幼児教育振興審議会において、令和5年度から8年度にわたる研究テーマを決定していく予定である。なお、幼児教育振興審議会委員は任期が2年のため令和5年度は新たな委員を委嘱していく。	教育指導課			
	2 (2) 1	時間外保育事業(延長保育事業)	○			実利用児童数	2,174	2,057	2,237	A	A	A	a	47,285,000	33,129,072	保護者の都合により、延長保育が必要となった場合、登録者の他に緊急で受け入れられる体制をとっている。現在のとこ、延長保育の実施者は定員数内で運営しているため、規定の条件を満たしていれば利用が可能となる。	保育課			
	2 (2) 2	産休明け保育事業				実施施設数	10	40	10	A	A	A	a	0	0	昨年度と同数の実施施設数が確認された。 民間保育所11園、認定こども園1園、小規模保育事業所20事業所、事業所内保育施設8園	保育課			
	2 (2) 3	保育所等における一時預かり事業	○	○		確保量	56,650	60,460	65,520	A	A	A	a	77,954,000	76,455,000	事業の実施園は23園で、確保量については60,460人日となった。	保育課			
	2 (2) 4	幼稚園等における一時預かり・預かり保育事業	○	○		延べ利用者数	169,302	198,823	237,364	B	B	B	b	191,351,000	184,237,499	今年度は無償化による潜在需要の掘り起こしのほか、コロナ禍が収束に向かったことから一時預かり事業(幼稚園型)や川越市預り保育事業の利用者は増加した。	保育課			
	2 (2) 5	統合保育事業				-	-	-	-	A	A	A	a	2,265,000	2,109,660	公立保育園20園において、統合保育事業を実施した。令和4年4月の障害児の受け入れ人数は100人であった。	保育課			
	2 (2) 6	病児保育事業	○			実施施設数 延べ利用者数	4 967	4 447	4 1,200	C	C	C	c	42,698,000	33,123,760	病院、保育所等に付設された専用スペース等において、急変が認められない病気の児童や、病気回復期にある児童の保育を行った。市内4箇所(東・西・南・中央)において事業を実施することで、仕事と子育ての両立支援を図った。新型コロナウイルス感染拡大に伴う利用の自粛等により、利用者数が減少した。	こども育成課			
	2 (2) 7	ファミリー・サポート・センター事業	○			活動回数 (子育て援助活動支援事業) (病児・緊急対応強化事業)	9,271 146	5365 402	10,007 150	C	C	C	c	16,345,000	16,018,679	子育ての援助を提供したい人と依頼したい人を会員とし、会員間の援助活動の調整を行うことにより、子育ての支援を図った。 また、緊急サポートセンター事業(病児・緊急対応強化事業)の実施により、基本事業で対応できない、緊急、突発的な対応や病児の預かりを実施し、よりよい子育て支援サービスの提供を図った。 新型コロナウイルス感染拡大に伴う利用の自粛等により、利用者数が減少し、子育て援助活動支援事業の活動回数は減となった。	こども育成課			

#### 4. 事業別達成状況等

【事業計画】…教育・保育や地域子ども・子育て支援事業に関する事業

【重点】…施策目標ごとに重点的に取り組む事業(すべての重点事業に目標事業量を設定している。)

【未来】…子どもの貧困に関する事業

【新規】…第2期計画から追加された事業

【達成状況(単年度)】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:事業実績なし E:事業終了

【達成状況(計画)】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:事業実績なし e:事業終了

基本 目標 No.	事業名	新規	重点	未来	目標 事業量	現状値 (H30)	実績値 (R4)	目標値	達成状況						実績評価 (事業内容)	R4 予算現額 (円)	R4 決算額 (円)	方向性 (課題・予定等)	担当課
									R	R	R	R	R	計					
2 (2) 8	子育て短期支援事業	○			延べ利用者数	512	219	600	C	C	C	c		8,283,000	6,982,873	延べ利用者数は社会状況に影響を受ける面もあるが、一定の利用ニーズが見込まれるため、利用に応じた受入体制を維持していく必要がある。 また制度改正に応じて、事業内容を精査し、国庫を活用しながら事業実施に向けた体制を整えていく必要がある。	こども家庭課		
2 (2) 9	川越市保育ステーション事業				保育ステーション設置数	0	1	1	D	A	A	a	令和3年7月に施設を開設し、令和4年度は利用児童の受け入れを行った。 【登録児童数】 送迎保育事業:5名 一時預かり事業:257名	61,767,000	60,704,536	引き続き、安心・安全な運用に努めるとともに、送迎保育については、利用率を向上させるため、新しい保育のスタイルとして市民への浸透を図る。	保育課		
2 (2) 10	休日・夜間保育事業				-	-	-	-	B	B	B	b	事業所内保育事業所1園において、休日保育事業を実施しているが、利用実績はなかった。 【延べ利用者数】0人 また、保育ステーションでは乳幼児一時預かり事業により年末年始を除く祝日も保育を提供できる体制を確保している。 なお、夜間保育事業については、実施する事業者がいなかったため、実施には至らなかった。	0	0	休日保育を提供できる体制を確保し、保育ニーズへの対応が図られるよう努める。 また、夜間保育事業については、事業者の保育体制を見据え、引き続き事業実施方法を検討する。	こども政策課 保育課		
2 (3) 1	利用者支援事業(基本型・特定型)	○	○		開設箇所数	2	4	5	A	B	B	b	個別のニーズに合わせて子育て支援の施設やサービス等の情報を提供し、円滑に利用できるようサポートすることで、子育ての不安感や孤立感の解消を図った。	18,715,709	18,700,545	利用者に有意義な情報を提供し、確実に支援が受けられるようにするため、関係機関相互の連携体制を強化する。今後の拠点事業の整備等に合わせて基本型の設置箇所等の検討を行っていく。	こども育成課 保育課		
2 (3) 2	子育て情報の発信		○		年間発行部数	20,000	20,000	20,000	A	A	A	a	各施策、各相談窓口など出産や子育てに関する情報を幅広く掲載した子育て情報誌「こえどちゃん」を発行し、母子手帳交付時、転入手続き時等に配布するほか、希望者に配布し、情報提供の推進を図った。また、ホームページ、官民協働事業による検索性の高い子育て応援サイト(ママフレ)、メール配信等、様々な周知方法を整備し、より多くの人に必要情報が行き届くよう努めた。	150,000	150,000	子育て情報誌については、R5年度についても目標事業量に基づく発行部数を予定する。より多くの方にご覧いただけるよう、子育て中の方が得たい情報の集約に努めるとともに、電子ブック等での閲覧しやすい環境を引き続き整える。また、市のHP、子育て応援サイト(ママフレ)、メール配信に加え、新しくLINEを活用することによって、子育て支援サービス周知の強化を図る。	こども政策課		
2 (3) 3	パパ・ママ応援ショップ事業				市内協賛店舗・施設数	858	871	900	A	A	A	a	18歳に達して次の3月31日を迎えるまでの子どもまたは妊娠中の方がいる家庭を応援するため、店舗等で割引などの特典が受けられるパパ・ママ応援ショップ事業を埼玉県と共同して実施した。ホームページやチラシ等で事業の周知を図り、スマートフォンアプリの利用促進を図った。また、必要な方には、市窓口にて紙の「優待カード」を配布するとともに、母子手帳交付時、対象世帯の県外からの転入手続き時にも「優待カード」を配布した。	0	0	ホームページやチラシ等を活用し、引き続き、利用方法や協賛店舗の募集等事業周知に努め、市内協賛店舗・施設数の目標達成を目指す。	こども育成課		

#### 4. 事業別達成状況等

【事業計画】…教育・保育や地域子ども・子育て支援事業に関する事業

【重点】…施策目標ごとに重点的に取り組む事業(すべての重点事業に目標事業量を設定している。)

【未来】…子どもの貧困に関する事業

【新規】…第2期計画から追加された事業

【達成状況(単年度)】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:事業実績なし E:事業終了

【達成状況(計画)】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:事業実績なし e:事業終了

基本 目標 No.	事業名	新規	事業 計画	重点 未来	目標 事業量	現状値 (H30)	実績値 (R4)	目標値	達成状況						実績評価 (事業内容)	R4 予算現額 (円)	R4 決算額 (円)	方向性 (課題・予定等)	担当課
									R	R	R	R	R	計					
2 (3) 4	赤ちゃんの駅事業				市内登録施設数	140	154	150	A	A	A	a	市施設を「赤ちゃんの駅」として指定し、授乳及びおむつ替等のスペースを提供。また、埼玉県との共催事業として民間施設等においても「赤ちゃんの駅」を実施し、登録施設には「赤ちゃんの駅」ステッカー等を標示している(市施設42箇所、民間施設等112箇所)。また、乳幼児を連れて保護者が安心してイベントに参加できる環境づくりとして「移動式赤ちゃんの駅」の貸出を行っているが、令和4年度の貸出実績は2件となっている。	0	0	引き続き、埼玉県と協力して「赤ちゃんの駅」事業を広く周知し、対応施設をさらに増やして乳幼児連れの保護者が安心して外出できる環境の整備を図る。また、乳幼児を連れて保護者が安心してイベントに参加できる環境づくりとして、「移動式赤ちゃんの駅」の貸出を行っていく。	こども育成課		
2 (3) 5	育児サークル支援				サークルへの支援回数	22	3	25	C	C	C	c	サークルへの出張支援を実施することで、育児に関する知識の普及や他、活動の取組のヒントを提供することにより、サークル活動の継続と活性化、育児力の向上につながった。育児サークル数が減少していることや、新型コロナウイルス感染拡大に伴い育児サークル支援回数が減少した。	0	0	育児サークル数の減少などから支援回数が増加しているが、育児に悩む保護者の不安の解消や育児力の向上のため、出張支援等を通じて、サークルの活性化を図り、計画達成に向け努めている。	こども育成課		
2 (3) 6	家庭教育講座				実施館数	17	8	18	C	C	C	c	非常時の対応により2館が中止となったが、実施予定館10館中8館で実施することができた。	860,500	644,500	周囲の感染状況を見ながら、家庭教育力を高め、乳幼児の心と体を育むための講座を引き続き実施していく。	中央公民館		
2 (3) 7	子育て安心施設整備事業	○			-	-	-	-	A	A	E	e	令和元年度から着手した新築工事について、計画した工程に基づき整備を進めたことにより、令和3年度で施設整備が完了し、令和3年7月5日から供用を開始した。	0	0	整備した施設を適切に運営し、子育て支援に係る事業を展開していく。	こども政策課		
3 (1) 1	オールマイティー チャー配置事業		○		配置校数	16	13	18	C	C	B	c	学習面では、各学校の課題に応じた活用により、きめ細やかな指導ができた。特に、児童生徒の学習に対する興味・関心の高まりについては、年度当初に設定した目標を91.7%の学校が達成した。生徒指導面では、教員が1人増えたことにより、生徒指導主任や教育相談主任に機動力が生まれ、生徒指導体制の充実が図れた。これにより、いじめの未然防止や早期発見の成果がみられた。また、授業規律の改善が図られ、学力向上等においても成果が得られた。	50,207,000	45,889,478	各学校の課題に応じたオールマイティーチャーの活用により、生徒指導面や学力向上面で確実に成果を上げている。毎年多くの学校がオールマイティーチャーの配置を望んでいる。令和4年度オールマイティーチャーを配置した小学校では、少人数学級が実現し、児童一人ひとり、きめ細やかな指導を進められている。今後も事業の拡大を図っていききたい。	学校管理課		
3 (1) 2	教育相談・就学相談 事業		○	○	①スクールソーシャルワーカーが対応した学校数 ②就学相談での判断と実際の就学状況一致率	①37 ②84.9%	①40 ②87.2	①56 ②85.0%	B	B	B	b	①スクールソーシャルワーカーが対応した学校数は40校で、310人(実人数)の児童生徒に対応した。令和3年度同様、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努め、活動できた。 ②335件の就学相談を行い、就学支援委員会の意見と就学先が合致した就学をした児童生徒の割合は87.2%だった。	111,701,000	101,170,454	①対応するケースの要因が、多様化・複雑化していることを受け、スクールソーシャルワーカーやさわやか相談員、教職員の研修において、それぞれに求められる役割・職務を明確にし、校内での組織的対応や校区内での連携の充実を図る。 ②就学相談件数は300件を超える高い水準にあるため、計画的に相談の運営ができるようにする必要がある。一人一人の教育的ニーズに対応できるよう、関係機関との連携を図ったり観察訪問を行ったりして丁寧な就学相談を進める。	教育センター		

#### 4. 事業別達成状況等

【事業計画】…教育・保育や地域子ども・子育て支援事業に関する事業

【重点】…施策目標ごとに重点的に取り組む事業(すべての重点事業に目標事業量を設定している。)

【未来】…子どもの貧困に関する事業

【新規】…第2期計画から追加された事業

【達成状況(単年度)】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:事業実績なし E:事業終了

【達成状況(計画)】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:事業実績なし e:事業終了

基本 目標 No.	事業名	新規	重点	未来	目標 事業量	現状値 (H30)	実績値 (R4)	目標値	達成状況						実績評価 (事業内容)	R4 予算現額 (円)	R4 決算額 (円)	方向性 (課題・予定等)	担当課
									R	R	R	R	R	計					
3 (1) 3	少人数指導の充実				-	-	-	-	A	A	A	a		0	0	全市立小・中学校に、県費による指導方法工夫・改善に伴う加配教員が配置され、少人数指導やチーム・ティーチングによる、個に応じたきめ細かな指導を積極的に実施し、確かな学力育成を図った。		全市立小・中学校に、県費による指導方法工夫・改善に伴う加配教員が配置され、少人数指導やチーム・ティーチングによる個に応じた指導を通して、基礎学力の定着を図る。各校の課題に応じて適切に活用されていることから計画達成見込みである。	教育指導課
3 (1) 4	不登校対策の推進				-	-	-	-	B	C	B	b	109,400,000	98,938,902	不登校児童生徒支援プランの6つの事業では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、スチューデントサポーターについては実施できなかったが、スクールソーシャルワーカーやさわやか相談員の配置、教育支援室の運営、いじめ・不登校対策検討委員会等、各事業において不登校児童生徒の支援をすることができた。		不登校児童生徒数が年々増加しており、個に応じた支援が求められている。令和4年度より「いきいき登校サポートプラン」を「不登校児童生徒支援プラン」と改定し、これまでの事業内容の見直しや新規事業に取り組む中で、学校・家庭・関係機関等の連携をより充実させ、児童生徒の社会的自立に向け、継続して不登校支援に取り組む。	教育センター	
3 (1) 5	川越市教職員研修				-	-	-	-	A	A	A	a	1,997,000	1,230,417	教職員の主体的・創造的な研修を奨励するとともに、研修内容・研修方法の工夫改善をすることで、次代を担う児童生徒を育成する教職員の資質・能力の向上を図った。 川越市小・中学生学力向上プランに基づく「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業力の向上を図る研修や、社会に開かれた教育課程の実現を図る研修など、計6つの内容に重点を置いて実施した。令和4年度における1人あたりの研修参加数は6.3回であった。		川越市教育委員会として、埼玉県教育委員会が策定した「埼玉県 校長及び教員としての資質向上に関する指標」を踏まえ、川越市の教職員として求められる資質・能力を確実に育成するため「教職員研修計画」を策定し、研修を実施していく。 また、学校と教職員の負担を軽減するといった観点や、教職員にとっての研修効果を高めるといった観点から、研修の目的や内容に応じて、研修の形態(対面・集合型研修やオンライン研修)を使い分ける等の工夫をしていく。	教育センター	
3 (1) 6	一人ひとりのニーズに応じた指導や支援の充実				-	-	-	-	C	C	B	b	705,000	208,846	学級運営支援員や特別支援教育支援員に対して児童生徒支援の在り方について研修を行い、児童生徒への具体的な支援方法等について理解を深めることができた。発達障害やその傾向にある児童生徒、集団に適應できない児童生徒に対して、各学校の状況を鑑み、特に必要があると思われる48校の小・中学校に週2～4日の範囲で配置した。		第三次川越市教育振興基本計画に則り、通級指導教室を活用した障害に応じた支援の充実や特別支援学級の計画的な配置等を進める。インクルーシブ教育システムの構築に向け、多様な学びの場の提供と児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導や支援の充実を図るため、学級運営支援員や特別支援教育支援員の配置等、環境の整備に努める。	教育センター	
3 (2) 1	小・中学校における食育の推進		○		食の指導実施校数	54	54	54	A	A	A	a	0	0	全市立小・中学校に食の指導実施を呼びかけ、心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養やとり方を理解させ、自ら管理していく能力を身に付けさせることができた。		引き続き、全市立小・中学校で食の指導を継続するよう啓発していく。	教育指導課	
3 (2) 1	小・中学校における食育の推進		○		食の指導実施校数	54	54	54	A	A	A	a	0	0	小学校2年生を対象に指導を行い食に関する理解を深めることができた。(各クラス2回 実施人数2,823人) 広報誌等を発行し、食に関する啓発をした。 ・給食ニュース配布(小学校23回 中学校23回) ・放送資料「たべものはなし」配布(小学校22回分 中学校22回分) ・給食だより配布 (5回)		引き続き継続した食に関する指導を実施し、食育の推進に努める。 今年度も小学校2年生を対象に食に関する指導を行う予定であり、計画達成の見込みである。	学校給食課	

#### 4. 事業別達成状況等

【事業計画】…教育・保育や地域子ども・子育て支援事業に関する事業

【重点】…施策目標ごとに重点的に取り組む事業(すべての重点事業に目標事業量を設定している。)

【未来】…子どもの貧困に関する事業

【新規】…第2期計画から追加された事業

【達成状況(単年度)】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:事業実績なし E:事業終了

【達成状況(計画)】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:事業実績なし e:事業終了

基本 目標 No.	事業名	新規	重点	未来	目標 事業量	現状値 (H30)	実績値 (R4)	目標値	達成状況						実績評価 (事業内容)	R4 予算現額 (円)	R4 決算額 (円)	方向性 (課題・予定等)	担当課
									R	R	R	R	R	計					
3 (2) 1	小・中学校における食育の推進			○	食の指導実施校数	54	54	54	A	A	A	a	栄養教諭・学校栄養職員の授業等における指導技術及び学校給食管理における職務遂行能力の向上を目的とした研修会を実施した。「学校給食における減塩の必要性和献立作成の工夫」という題で女子栄養大学准教授中西明美氏に講義いただいた。具体的な減塩の工夫の仕方や調味パーセントの計算方法等についてご教示いただき、学校給食献立作成の際に活用することができた。講義を通して、小・中学校における食育の推進に寄与した。	20,000	15,000	小・中学校における食育の推進に寄与していることから、今後も計画達成のために栄養教諭・学校栄養職員研修会等の研修会を充実させていく。	教育センター		
3 (2) 2	薬物乱用防止啓発				①周知回数等 (広報) (ポスター) (リーフレット)	2回 3回 1,000部	3回 3回 200部	2回 3回 1,000部	B	B	B	b	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントが中止になり、リーフレットの配布ができなかった。 市内の利用者の多い駅の構内等に薬物乱用防止ポスターを掲示し、広く啓発を行った。	48,700	46,500	新型コロナウイルス感染症が収まり、イベントの開催が出来るようになれば、リーフレットの配布を再開し、計画達成に努めていきたい。	保健総務課		
3 (2) 2	薬物乱用防止啓発				②薬物乱用防止教室実施校数	56	56	56	A	A	A	a	全市立学校に薬物乱用防止教室の開催を呼びかけ、児童生徒だけでなく、保護者への啓発を図った。全校で開催することができた。	0	0	引き続き、全市立学校で薬物乱用防止教室を開催するなど、啓発活動を実施していく。	教育指導課		
3 (2) 3	性感染症対策				中学校出前講座実施校数	16	21	22	C	C	A	a	講座の実施を希望する中学校全てで講座を実施することができた。	726,000	693,000	講座を実施するかどうかは、その学校の判断や方針による。	保健予防課		
3 (3) 1	中学生社会体験事業		○	○	中学校実施校数	22	0	22	D	D	D	d	全市立中学校第1学年または第2学年の生徒が、望ましい勤労観や職業観を身に付けるために、実際に職場体験活動を行っている。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、中学生社会体験事業を中止とした。	771,330	0	全市立中学校全校で、望ましい勤労観や職業観を身に付けさせるために、職場体験活動を行っている。	教育指導課		
3 (3) 2	社会体験学習及び交流活動				-	-	-	-	B	B	B	b	コロナ禍で実施が難しかったことから、電話によるインタビューなどに代えて実施した。	0	0	コロナ禍が収束した後に、積極的に実施していきたい。	保育課		
3 (3) 3	地域人材活用事業				事業実施回数	233	268	275	C	C	A	b	特色ある学校づくりを推進していくため、指導体制を整え、地域人材を活用し、多様な教育活動や体験活動が展開できた。主に学習支援や読み聞かせ、部活動指導支援等で地域人材の活用ができた。 新型コロナウイルス感染症の影響により、地域との関わりを持つ機会が減ってはいたものの、徐々にコロナ禍前の状況に戻つつある。	825,000	804,000	地域の人材を活用し、多様な学習に取り組むことができた。特に、読み聞かせや農業体験等様々な分野で子どもたちの心に残る学習につながっている。 新型コロナウイルス感染症の影響により、地域との関わりが減ってしまった現状がある。 引き続き、多様な学習機会を提供するため、感染防止策を講じながら、地域の人材を積極的に活用し、特色ある学校づくりを推進していく。	学校管理課		
3 (3) 4	PTA家庭教育学級				-	-	-	-	D	E	E	e	PTA家庭教育学級業務委託事業は令和2年度で終了した。	0	0	各単位PTAの実情に合わせ、PTA家庭教育学級の開催を支援していく。	地域教育支援課		
3 (3) 5	親の学習講座				-	-	-	-	B	B	A	b	小学校32校中28校が実施した。	125,000	120,000	新型コロナウイルス感染症対策を十分に行ったうえ実施する。	地域教育支援課		

#### 4. 事業別達成状況等

【事業計画】…教育・保育や地域子ども・子育て支援事業に関する事業

【重点】…施策目標ごとに重点的に取り組む事業(すべての重点事業に目標事業量を設定している。)

【未来】…子どもの貧困に関する事業

【新規】…第2期計画から追加された事業

【達成状況(単年度)】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:事業実績なし E:事業終了

【達成状況(計画)】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:事業実績なし e:事業終了

基本 目標 No.	事業名	新規	事業 計画	重点 事項	未来	目標 事業量	現状値 (H30)	実績値 (R4)	目標値	達成状況						実績評価 (事業内容)	R4 予算現額 (円)	R4 決算額 (円)	方向性 (課題・予定等)	担当課
										R	R	R	R	R	計					
3 (3) 6	コミュニティ・スクール	○			○	-	-	-	-	A	A	A	a	学校と保護者・地域住民等が目標やビジョンを共有し、ともに知恵を出し合い、学校運営に地域の声を積極的に生かす仕組みをつくっている。学校と保護者・地域住民等が、連携・協働しながら子供たちの豊かな成長を支える「地域とともにある学校づくり」を進めるため、学校運営協議会を設置した。	1,020,000	687,000	令和5年度より、すべての市立学校に学校運営協議会が設置された。それに伴い、引き続き、学校と保護者・地域住民等へ、コミュニティ・スクールについての理解を図っていく。	学校管理課		
3 (3) 7	地域子どもサポート推進事業				○	○	事業参加者数	40,989	6,655	41,000	C	C	C	c	新型コロナウイルス感染症の影響により、各地区における多くの事業が中止となった。しかし、そのような状況の中でも、各地区が学校及び社会教育施設と連携し、子どもたちの現状に即した活動の検討を進め、工夫しながら一部の事業を実施し、令和3年度と比較し1.8倍近くの参加者が集まった。	3,923,210	2,686,823	引き続き学校及び社会教育施設と連携しながら、各地区における事業の展開を支援する。	地域教育支援課	
3 (4) 1	放課後児童健全育成事業	○	○		○	○	受入可能児童数	3,509	4,246	4,454	A	A	A	a	保護者の就労等により、放課後の家庭が常時留守になっている児童を、市内の学童保育室及び民間の放課後児童クラブで保育した。 【学童保育室】 令和4年度入室児童数3,268人(待機児童0人) ※学童保育室32室 4学童保育室で小学校の教室等を活用し、専用面積の増加を図った。 老朽化した設備、備品等の修繕を行った。(31室151件) 【民間放課後児童クラブ】 令和4年度入室児童数40人(補助事業者1施設) ※他届出事業者3施設あり	875,243,000	802,816,370	【学童保育室】 ・入室要件を満たした児童を受け入れる。引き続き待機児童0人を目標とする。 ・狭あい化している学童保育室を把握し、小学校と協議の上、余裕教室等を活用または改修することにより、専用面積の増加を図る。 【民間放課後児童クラブ】 保護者の就労等により、家庭が常時留守になっている児童を、安全に保育する。幅広い利用者ニーズに対応しながら、達成状況の維持を図る。 適切に事業が行われるよう、関係課と調整しながら事業の管理・監督を行っていく。	こども育成課 教育財務課	
3 (4) 2	児童館機能の整備						-	-	-	A	A	A	a	利用者のニーズの多様化を踏まえつつ、市民ボランティア等事業協力者、関係各課・期間・団体等と連携して、青少年健全育成及び子育て支援に係る各種サービスを3館で提供してきた。 ◎児童センターこどもの城 ○開館日数 308日 ○利用者数 24,682人 (プラネタリウム 1,117人) ◎川越駅東口児童館 ○開館日数 308日 ○利用者数 9,424人 ◎川越市高階児童館 ○開館日数 308日 ○利用者数 21,394人	58,251,000	57,456,175	青少年健全育成及び子育て支援に係る各種サービスの提供に努める。	こども育成課		
3 (4) 3	放課後子供教室の推進事業	○					-	-	-	B	B	A	b	6校で放課後子供教室を実施、5校で試行実施した。	349,790	200,999	地域の実情に合った多様な放課後子供教室を推進する。	地域教育支援課		
3 (4) 4	子どもの居場所づくりの推進	○			○		新規開設数	-	1	3	D	C	C	c	令和4年6月より、「すくすくかわごえ」において、子どもの居場所を開設した。 【開設日数】99日 【利用者数】467人	459,000	447,665	子育て安心施設での「子どもの居場所」を定着させるとともに、地域に根差した「居場所」を地域が運営できるよう支援を行う。	こども育成課	

#### 4. 事業別達成状況等

【事業計画】…教育・保育や地域子ども・子育て支援事業に関する事業

【重点】…施策目標ごとに重点的に取り組む事業(すべての重点事業に目標事業量を設定している。)

【未来】…子どもの貧困に関する事業

【新規】…第2期計画から追加された事業

【達成状況(単年度)】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:事業実績なし E:事業終了

【達成状況(計画)】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:事業実績なし e:事業終了

基本 目標 No.	事業名	新規 計画 重点 未来	目標 事業量	現状値 (H30)	実績値 (R4)	目標値	達成状況						実績評価 (事業内容)	R4 予算現額 (円)	R4 決算額 (円)	方向性 (課題・予定等)	担当課
							R	R	R	R	R	計					
3 (4) 5	児童遊園の整備		-	-	-	-	A	A	A		a	10,862,000	10,597,786	大多数の児童遊園が設置から40年以上経過しており、遊具等の劣化も進んでいる状況であるが、予算の範囲内で、地域ニーズも踏まえながら、修繕・更新等を実施し、遊具等の安全性の確保に努めていく。 令和5年度も引き続き、予算の範囲内で遊具等の修繕・更新等維持管理を進めていくものとする。	こども育成課		
3 (4) 6	都市公園の整備		都市公園(延べ)整備箇所数	7	8	10	A	C	B		a	12,182,500	10,863,600	限られた予算を効率的に活用するため、緊急性のある公園施設の改修・補修を優先的に、市民サービスの向上を図るとともに、保守点検の結果を参考に、改修・補修が必要な箇所の整備に努める。また、公園の新規開設に向けて整備を進める。	公園整備課		
4 (1) 1	不妊に対する支援		-	-	-	-	A	A	A		a	68,480,000	48,818,103	特定不妊治療については令和4年度より保険適応となったため、令和5年度以降は特定不妊治療に係る医療費助成は廃止となる。 その他の検査等については、今後も継続していく。	健康管理課		
4 (1) 2	子育て体験学習		市立中学校実施校数	22	22	22	B	B	A		a	1,074,480	1,049,180	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、赤ちゃんとふれあい体験を人形を用いたふれあい疑似体験に変更し実施した。令和5年度は、赤ちゃんと直接ふれあい体験ができる見込み。	こども育成課		
4 (1) 3	結婚支援事業		実施回数	2	2	2	D	A	A		b	80,080	64,464	引き続き、新型コロナウイルス感染防止に配慮しながら実施する。	広聴課		
4 (1) 4	結婚相談		-	-	-	-	A	A	A		a	2,637,740	2,172,560	引き続き、結婚を希望する男女に配偶者を紹介し、結婚に至るまでの相談を実施する。	広聴課		
4 (1) 5	ワーク・ライフ・バランス推進事業	○	セミナー開催回数	1	2	1	D	A	A		a	88,500	35,000	予定どおり実施する。 開催方法については、動画配信やオンライン等を含めて検討する。	男女共同参画課 雇用支援課		
4 (1) 6	女性の就労支援事業		講座開催時間数	190	191	190	D	A	A		a	2,960,000	2,960,000	予定どおり実施する。	男女共同参画課		
4 (1) 7	家庭における男性の参画促進		講座開催時間数	30	30	30	D	C	A		a	184,800	176,000	予定どおり実施する。	男女共同参画課		

#### 4. 事業別達成状況等

【事業計画】…教育・保育や地域子ども・子育て支援事業に関する事業

【重点】…施策目標ごとに重点的に取り組む事業(すべての重点事業に目標事業量を設定している。)

【未来】…子どもの貧困に関する事業

【新規】…第2期計画から追加された事業

【達成状況(単年度)】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:事業実績なし E:事業終了

【達成状況(計画)】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:事業実績なし e:事業終了

基本 目標 No.	事業名	新規	重点	未来	目標 事業量	現状値 (H30)	実績値 (R4)	目標値	達成状況						実績評価 (事業内容)	R4 予算現額 (円)	R4 決算額 (円)	方向性 (課題・予定等)	担当課
									R	R	R	R	R	計					
4 (1) 8	多子世帯応援クーポン				-	-	-	-	A	A	A	a	第3子以降の子どもが生まれた世帯を対象に、埼玉県が実施するクーポン事業に金額を上乘せし、子育て支援サービス等に利用できるチケットを配布し利用してもらうことにより、多子世帯の育児に係る経済的・身体的負担の軽減に寄与した。	15,972,486	14,720,666	本市事業は埼玉県事業の要綱を元に実施しており、県事業が令和5年度をもって終了(令和5年3月31日生まれまでの第3子以降の子どもまでを対象。クーポン配布令和5年6月まで、使用12月まで)となったことから、川越市事業についても同様終了。 ※令和5年度より別途県「子育てファミリー応援給付金事業」に対応した「川越市子育てファミリー応援給付金事業」を開始。	子ども政策課		
4 (1) 9	多胎児産前産後ヘルパー派遣事業				-	-	-	-	B	B	A	a	多胎児世帯の妊娠出産期における母の負担軽減を図り、子育てを支援するために、家事又は育児の援助を行うヘルパーを派遣することにより、多胎児世帯の母の負担軽減を図ることができた。 【派遣回数】462回	3,078,360	2,917,525	多胎児世帯の育児負担は大きいことから、引き続き関係機関と連携を図り、多胎児世帯の支援を行っていく。	子ども家庭課		
4 (1) 10	多世代同居・近居の促進	○			-	-	-	-	A	A	A	a	市ホームページ上に多世代同居・近居のメリットや関連施策及び子育てに関する必要な情報について更新を行い、子育て世代及び祖父母世代に対し更なる周知を図った。	0	0	引き続き、多世代同居・近居に関し、必要な情報を集約し、市ホームページ上で公開するなど情報提供に努めていく。	子ども政策課		
4 (1) 11	若者のライフデザインの支援の検討	○			-	-	-	-	A	A	A	a	若い世代が、結婚、妊娠・出産、子育て、仕事を含めた将来のライフデザインを希望を持って描き、様々なライフイベントに柔軟に対応できるよう、必要な知識や情報を学び、将来について考える機会を提供するため、令和4年12月18日(日)にライフデザインに関するセミナーを開催した。当日は15歳～29歳までの若者43名が参加した。	1,100,000	1,039,500	令和5年度以降は厳しい財政状況の折、新規に予算を投じて事業を実施することが困難であるため、民間との連携(包括連携協定締結企業、川越市青年会議所等)により、若者向けの講演や体験型イベント等のライフデザイン事業の実施を予定している。実施に向けては市の費用負担の抑制を図る(子育て安心施設の活用等)。	子ども政策課		
4 (2) 1	青少年を育てる市民会議		○		地区会議事業数	84	44	84	C	C	C	c	全22地区への地区会議活動費補助を行い、青少年健全育成に寄与する事業が各地区で実施された。各種表彰及び少年の主張作文優秀作品の表彰を行い、青少年への理解と関心を高めた。	2,750,000	1,842,143	引き続き、市民会議会員である関係機関、団体の連携と、青少年健全育成の推進を図る。各地区の事業は令和3年度より増えているが、新しい視点や考え方で、青少年健全育成に寄与する事業実施も促す。	子ども育成課		
4 (2) 2	民生委員・児童委員研修会				開催回数	4	2	4	C	C	C	c	子どもに関する様々な問題に対応する知識・スキル等の向上を図るため、例年4回程度研修を実施していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、DVDによる動画視聴研修のみとなっていた。令和4年度は引き続きDVD研修を行いながら、一斉改選に伴う新任者を対象に対面で研修を実施した。	200,000	145,477	新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら、引き続き研修の実施に努めていく。	福祉推進課		
4 (2) 3	高校生のための労働法セミナー	○			セミナー開催回数	3	2	4	C	C	C	c	市内高校にて、高校生を対象とした労働法の基本的なポイントや働く上でトラブルにあった場合の対処や相談方法などを解説するセミナーを2回開催した。新型コロナウイルス感染症の影響により、1回を中止とした。	90,000	60,000	予定どおり実施する。	雇用支援課		
4 (2) 4	ネットパトロール事業	○			-	-	-	-	A	A	A	a	市立学校を対象に、ネット上の学校非公式サイト等の検索を行い、学校非公式サイトの実態を把握し、児童・生徒の生命及び健康を脅かす事態の発生を未然に防止する。	1,500,000	1,481,482	今後は、市立学校を対象に、ネット上の学校非公式サイト等の検索を行い、学校非公式サイトの実態を把握し、児童・生徒の生命及び健康を脅かす事態の発生を未然に防止していく。	教育指導課		

#### 4. 事業別達成状況等

【事業計画】…教育・保育や地域子ども・子育て支援事業に関する事業  
 【重点】…施策目標ごとに重点的に取り組む事業(すべての重点事業に目標事業量を設定している。)  
 【未来】…子どもの貧困に関する事業  
 【新規】…第2期計画から追加された事業

【達成状況(単年度)】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:事業実績なし E:事業終了  
 【達成状況(計画)】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:事業実績なし e:事業終了

基本 目標 No.	事業名	新規	重点	未来	目標 事業量	現状値 (H30)	実績値 (R4)	目標値	達成状況						実績評価 (事業内容)	R4 予算現額 (円)	R4 決算額 (円)	方向性 (課題・予定等)	担当課
									R	R	R	R	R	計					
4 (2) 5	青少年悩みごと相談事業	○			-	-	-	-	A	A	A	a	少年指導センター指導員により、市内青少年とその家族に対し、青少年が抱いている将来への不安や働くことへの悩み等の相談を受け、関係機関につなぐなどの対応を行った。 【令和4年度相談件数】20件	0	0	引き続き、青少年等からの相談に対応する。	こども育成課		
4 (2) 6	非行防止活動	○			-	-	-	-	B	B	A	a	青少年の健全育成のため、少年補導員を委嘱し、街頭補導活動を通じて青少年への声掛け等を実施した。 【令和4年度声掛け件数】2,010人 【令和4年度延べ従事者数】1,252人	3,664,000	3,146,000	令和4年度は、令和3年度に新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっていた活動が再開されたため、声掛け件数が増えた。令和5年度も引き続き、「愛の声かけ活動」を実施していく。	こども育成課		
4 (3) 1	こども110番の家				-	-	-	-	A	A	A	a	こども110番の家の運営主体は、地域・学校・PTAであるが、その活動を支援するため、市民会議事業において看板を製作し、新規登録者や汚損による掛け替えに対応した。	0	0	引き続き、市民会議事業として看板を製作し、地域・学校・PTAの活動を支援していく。	こども育成課		
4 (3) 2	交通安全教室		○		実施回数	187	128	190	C	C	C	c	毎年度、市内各小学校を中心に交通安全教室を実施し、交通安全思想を普及している。令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大等により、中止となった学校があった。	3,228,000	2,596,200	今後も市内小学校からの依頼に基づき交通安全教室を実施していく。	防犯・交通安全課		
4 (3) 3	児童の登校時の交通安全指導				-	-	-	-	A	A	A	a	児童の登校時における交通安全指導を行った。	13,266,000	11,858,400	引き続き、児童の登校時における交通安全の確保、正しい交通ルールとマナーの指導を図るために実施していく。	防犯・交通安全課		
4 (3) 4	安全・安心な通学路等の確保				-	-	-	-	A	A	A	a	毎年度、各小中学校から提出される通学路安全点検票に基づき、路面標示等による通学路安全対策を実施した。また、地元自治会からの要望に対しても安全対策を実施した。	12,408,000	10,993,400	引き続き緊急度の高いものから順次実施する。地域からの要望に対して、現場を確認しながら、必要な対策を実施していることから、計画は達成できる見込みである。	防犯・交通安全課		
4 (3) 4	安全・安心な通学路等の確保				-	-	-	-	A	A	A	a	各小中学校から提出された要望について、関係課と連携し、都度対応し、通学路の改善を行っている。	0	0	引き続き、関係課と連携し、安心・安全な通学路の確保に努める。	教育指導課		
4 (3) 5	防犯情報等の提供				メール登録件数	7,811	9,773	10,800	A	A	A	a	各種キャンペーンや出前講座等において周知啓発を行い、登録者の増加を図っている。令和4年度は、年度中に登録者数が一時増加したものの、その後徐々に減少し、年度末には前年度より減少することとなった。	0	0	随時、犯罪情報等を配信し、行政・警察・事業所・地域住民が情報の共有化を図り、連携の強化と地域における自主防犯活動を引き続き推進する。各種イベントや出前講座等を通じてメール配信サービスやSNSによる防犯情報の周知を引き続き行うことにより、今期計画中の達成を目指す。	防犯・交通安全課		
4 (4) 1	日本語教室	○	○		外国籍市民参加者数	4,008	4,007	4,200	C	C	A	c	令和4年度より、市と市民団体との協働事業として日本語教室の新たな体制が開始した。	134,000	107,019	市内の空白地域に新たな日本語教室の設立を目指す。	国際文化交流課		
4 (4) 2	国際理解講座	○			-	-	-	-	D	A	A	b	下半期には、東京国際大学の教授を講師として「超初級英会話講座」を実施した。	100,000	60,000	令和5年度は「チリの先生に学ぶ超初級スペイン語とチリの文化」を開催。	国際文化交流課		
4 (4) 3	姉妹・友好都市交流の充実	○			-	-	-	-	D	D	A	d	「市制施行100周年姉妹友好都市記念式典&シンポジウム」を開催し、姉妹都市関係者が一堂に会する中で、過去派遣生をバネリストとして迎え、自身の経験を踏まえた今後の交流のあり方などについて、意見を述べてもらった。	7,484,000	4,000,291	令和5年度は、中札内村への中学生の訪問事業を開催。	国際文化交流課		

#### 4. 事業別達成状況等

【事業計画】…教育・保育や地域子ども・子育て支援事業に関する事業

【重点】…施策目標ごとに重点的に取り組む事業(すべての重点事業に目標事業量を設定している。)

【未来】…子どもの貧困に関する事業

【新規】…第2期計画から追加された事業

【達成状況(単年度)】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:事業実績なし E:事業終了

【達成状況(計画)】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:事業実績なし e:事業終了

基本 目標 No.	事業名	新規	重点	未来	目標 事業量	現状値 (H30)	実績値 (R4)	目標値	達成状況						実績評価 (事業内容)	R4 予算現額 (円)	R4 決算額 (円)	方向性 (課題・予定等)	担当課
									R	R	R	R	R	計					
5 (1)	1 児童手当				-	-	-	-	A	A	A	a		4,944,275,000	4,885,925,000	家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健全な成長に資することができた。	子ども政策課		
5 (1)	2 児童扶養手当			○	-	-	-	-	A	A	A	a	1,001,131,000	929,188,530	父又は母と生計を同じくしていない児童が育成される家庭の生活の安定と自立の促進を図るため、当該児童を養育している者に児童扶養手当を支給した。 総支給額 929,188,530円 受給者 1,988人(令和4年度末現在)	子ども家庭課			
5 (1)	3 ひとり親家庭等医療費の助成				-	-	-	-	A	A	A	a	72,947,000	69,739,296	ひとり親家庭等に医療費の一部を支給することにより、ひとり親家庭等の生活の安定と自立を支援し、福祉の増進を図ることができた。	子ども政策課			
5 (1)	4 川越市遺児手当				-	-	-	-	A	A	A	a	1,241,000	1,241,000	遺児の保護者に遺児手当を支給することにより、これら遺児の健全な育成を図ることができた。	子ども政策課			
5 (1)	5 ひとり親家庭相談			○	-	-	-	-	A	A	A	a	9,229,623	8,529,930	母子父子自立支援員を3名配置し、ひとり親家庭の様々な相談に応じるとともに、関係課との連携を図ることで、相談業務を円滑に実施することができた。 【相談件数】 母子 4,601件 父子 177件	子ども家庭課			
5 (1)	6 ひとり親家庭等日常生活支援事業			○	-	-	-	-	D	D	D	d	111,600	0	一時的に生活困難になった家庭に対して、支援員を派遣することで当該家庭の自立と福祉の増進を図ってきたが、利用に係る相談はなかった。	子ども家庭課			
5 (1)	7 母子父子寡婦福祉資金貸付事業			○	-	-	-	-	A	A	A	a	75,700,000	46,608,473	ひとり親家庭などを対象に修学に必要な資金などを適切に貸し付けることで、経済的自立を支援できた。 【貸付件数】 母子 78件 父子 5件 寡婦 0件	子ども家庭課			
5 (1)	8 母子家庭等就業・自立支援センター事業			○	延べ利用者数	214	387	300	C	C	A	a	814,124	612,328	しごと支援センター及び自立相談支援センターと連携し、就業支援専門員による就労相談を実施することで、ひとり親家庭等の自立を支援することができた。また、ジョブスポット協力のもと、窓口前に求人票を設置することで、来庁時等に必要な方に求人情報を提供した。なお、就労支援パソコン講座については、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年度は中止とした。	子ども家庭課			
5 (1)	9 ひとり親家庭等生活上事業			○	延べ参加者数	35	0	80	D	D	D	d	61,636	0	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年度に予定していた講習会を中止した。	子ども家庭課			

#### 4. 事業別達成状況等

【事業計画】…教育・保育や地域子ども・子育て支援事業に関する事業

【重点】…施策目標ごとに重点的に取り組む事業(すべての重点事業に目標事業量を設定している。)

【未来】…子どもの貧困に関する事業

【新規】…第2期計画から追加された事業

【達成状況(単年度)】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:事業実績なし E:事業終了

【達成状況(計画)】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:事業実績なし e:事業終了

基本 目標 No.	事業名	新規	重点	未来	目標 事業量	現状値 (H30)	実績値 (R4)	目標値	達成状況						実績評価 (事業内容)	R4 予算現額 (円)	R4 決算額 (円)	方向性 (課題・予定等)	担当課
									R	R	R	R	R	計					
5 (1) 10	自立支援給付金事業			○	-	-	-	-	A	A	A	a	ひとり親家庭の母及び父を対象に、高等職業訓練促進給付金等を適切に支給し、受給者の経済的な自立を支援することができた。 【支給件数】 高等職業 27件 教育訓練 7件	35,258,000	26,541,812	制度改正により要件の緩和や支給期間の延長など、支援の充実が図られている。引き続き、主体的な資格取得のために、給付金を支給し、母子家庭及び父子家庭の自立を支援していく。	こども家庭課		
5 (1) 11	母子・父子自立支援プログラム策定等事業			○	延べ利用者数	42	45	50	A	A	A	a	児童扶養手当受給者を対象に自立支援プログラム策定事業を実施し、自立促進のための就労支援を効果的に実施することができた。また、ハローワークとの連携により就労支援を行った。	240,000	160,000	引き続き、児童扶養手当受給者の自立を支援するために自立支援プログラムを策定し、ハローワークと連携しながら継続的な就労支援を行っていく。また、児童扶養手当現況届の際にハローワークによる集中相談を実施する。	こども家庭課		
5 (1) 12	公営住宅における優遇登録			○	-	-	-	-	A	A	A	a	登録方式による入居募集に際し、母子世帯、多子世帯を対象に優遇して登録を行った。 【母子世帯の登録数】3世帯 【多子世帯の登録数】2世帯	0	0	住宅困窮度判定基準に基づき、原則として、登録方式での優遇を中心に行っていく。	建築住宅課		
5 (1) 13	母子家庭等地域生活支援事業	○		○	-	-	-	-	C	B	B	b	母子家庭等の日常生活に係る相談はひとり親家庭相談の中で実施しているが、養育費に関する一般的相談には対応できなかった。なお、専門的な内容については法テラス等の専門機関を紹介した。	0	0	日常生活に関する相談については引き続き実施するとともに、養育費に関する一般的な相談に対応していく。	こども家庭課		
5 (1) 14	生活困窮者自立支援事業	○		○	就労支援対象者の 就労・増収率	77.9%	55.9%	80.0%	A	C	C	c	生活困窮者等に対する包括的かつ継続的な支援を実施した。相談者のうち就労支援の対象者においては、就労の実現または増収を図った。 社会福祉協議会の貸付を受けるために形式的に利用する支援対象者が増加したことで、前年同様指標とした就労・増収率は目標値を下回ったが、前年度に比べると回復傾向にあり、事業としては概ね順調であるといえる。	91,790,000	86,877,423	継続して事業の実施に努める。	生活福祉課		
5 (1) 15	生活保護事業	○		○	-	-	-	-	A	A	A	a	世帯の状況により、必要な支援を実施している。	7,522,813,000	7,029,003,583	継続して事業の実施に努める。	生活福祉課		
5 (2) 1	ひとり親家庭等学習支援事業			○	利用人数	95	72	110	B	B	C	c	ひとり親世帯等の児童の学習を支援することで児童の学習意欲の向上に努め、不登校児等にもきめ細やかな対応を実施している。 ひとり親家庭等の児童に対する学習支援や進学相談等に応じることにより、基礎学力の向上及びひとり親家庭等の自立の促進を図ることができた。	13,960,458	13,941,119	例年利用希望者も多く、放課後の学習する場としてだけでなく、こどもの貧困対策に資する「子どもの居場所」としても機能している。 学習支援は、原則、対面による個別指導形式で実施しているが、教材の郵送による通信指導や、オンライン授業による支援の可能性についても考慮し、事業を継続的に実施していく方法を検討する。	こども家庭課		
5 (2) 2	川越市生活困窮者学習・生活支援事業	○		○	利用人数	53	28	65	C	C	C	c	貧困が代を超えて連鎖することがないよう、生活困窮世帯(生活保護世帯を含む)の子ども及びその保護者に対して、居場所づくりを中心とした将来の自立に向けた包括的な支援を行った。 目標値を下回ったのは、支援対象者の減少及び新型コロナウイルス感染症の影響により利用が控えられたことも要因ではないかと考える。	9,208,452	9,208,447	生活保護受給世帯に対して利用動奨を行う。	生活福祉課		

#### 4. 事業別達成状況等

【事業計画】…教育・保育や地域子ども・子育て支援事業に関する事業

【重点】…施策目標ごとに重点的に取り組む事業(すべての重点事業に目標事業量を設定している。)

【未来】…子どもの貧困に関する事業

【新規】…第2期計画から追加された事業

【達成状況(単年度)】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:事業実績なし E:事業終了

【達成状況(計画)】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:事業実績なし e:事業終了

基本 目標 No.	事業名	新規	重点	未来	目標 事業量	現状値 (H30)	実績値 (R4)	目標値	達成状況						実績評価 (事業内容)	R4 予算現額 (円)	R4 決算額 (円)	方向性 (課題・予定等)	担当課
									R	R	R	R	R	計					
5 (2) 3	ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業	○		○	-	-	-	-	A	A	D	b	ひとり親家庭の父母の自立とその児童の福祉を増進するため、高等学校卒業程度認定試験の合格を目指す者に、講座等に要した経費に基づき給付金を支給するものであるが、令和4年度中の利用実績はなかった。 【支給件数】0件	400,000	0	引き続き、ひとり親家庭の父母及び寡婦の自立とその児童の福祉を増進するため、必要な方に給付金を支給していく。	こども家庭課		
5 (2) 4	高等教育機関等における修学への支援	○		○	-	-	-	-	A	A	A	a	国・県の修学支援制度の利用に併せて、支援を必要とする学生等に経済的支援を行うことができた。 ○川越市大学奨学金 奨学生 25人 うち新規奨学生 5人 ○川越市育英資金新規貸付件数 入学準備金 9人(基金から2,920,000円) 学資金 18人(基金から5,616,000円)	18,426,000	12,340,000	国・県の支援制度の動向を注視し、また、本市財政事情及び社会状況等を勘案しながら、今後も経済的支援を必要とする学生等に支援が届くよう、効率的な運営に努める。	教育総務課		
5 (2) 5	準要保護児童生徒に対する就学援助	○		○	-	-	-	-	A	A	A	a	・小学校 受給者数2,640人 ・中学校 受給者数1,543人 ・令和5年度入学者に新入学児童生徒学用品費等の早期支給を実施した。	387,117,000	341,982,614	今後も引き続き就学援助を必要とする方が利用しやすいよう制度の充実・努める。	教育財務課		
5 (2) 6	実費徴収に係る補足給付を行う事業		○	○	延べ利用者数	20	654	1,314	A	C	C	a	生活保護受給世帯等の児童の保育に係る実費徴収額に加え、新制度未移行の幼稚園における副食材料費の実費徴収額に対し、補足給付を行うことで、保育等の利用を図れた。	25,287,000	19,874,171	事業の周知を更に図り、生活保護受給世帯等の児童が、保育等を円滑に利用できるよう、実費徴収額に対し補足給付を行うことで、計画達成に努める。	保育課		
5 (2) 7	子供の未来応援地域ネットワーク形成支援事業	○		○	-	-	-	-	A	A	A	a	川越市社会福祉協議会が中心となって市内の支援団体を構成員とした「こどもの居場所づくり交流会」を開催し、前年度に引き続き、市も当該交流会へ参加した。	0	0	川越市社会福祉協議会を中心とした、地域における多様な関係者の連携・協力による支援体制のネットワーク構築の支援に引き続き努める。	こども政策課		
5 (3) 1	要保護児童対策地域協議会		○		実務者会議開催回数	6	17	21	B	B	B	b	要保護児童等の早期発見や適切な支援を図るため、当協議会において関係機関が情報や考え方を共有し、適切な連携ができるよう協議した結果、早期発見や適切な支援を行うことができた。新型コロナウイルス感染症の影響により、研修の開催は見合わせた。	348,400	0	引き続き、会議を開催するとともに、必要に応じて関係機関の緊密な情報交換を実施し、効果的かつ効果的な会議を目指す。	こども家庭課		
5 (3) 2	児童虐待防止の啓発活動		○		講座への講師派遣回数	7	8	4	B	B	A	b	児童虐待に関する講座への講師派遣や広報へのチラシ折込みなどにより、必要な機会をとらえて児童虐待に関する周知啓発を行うことができた。	721,600	696,558	新型コロナウイルス感染症対策を考慮しながら、市民や関係機関に対して、児童虐待防止の啓発活動を行っていく。	こども家庭課		
5 (3) 3	児童虐待防止SOSセンター事業	○			-	-	-	-	A	A	A	a	フリーダイヤルで児童虐待の通告や虐待をしてしまいそうな保護者からの相談を受ける環境を整え、併せて関係機関からの情報提供を受けることにより児童虐待の早期発見・早期対応につなげることができた。 【相談受付件数】491件	175,283	160,980	事業の周知を進め、引き続き事業を継続していく。	こども家庭課		

#### 4. 事業別達成状況等

【事業計画】…教育・保育や地域子ども・子育て支援事業に関する事業

【重点】…施策目標ごとに重点的に取り組む事業(すべての重点事業に目標事業量を設定している。)

【未来】…子どもの貧困に関する事業

【新規】…第2期計画から追加された事業

【達成状況(単年度)】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:事業実績なし E:事業終了

【達成状況(計画)】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:事業実績なし e:事業終了

基本 目標 No.	事業名	新規	重点	未来	目標 事業量	現状値 (H30)	実績値 (R4)	目標値	達成状況						実績評価 (事業内容)	R4 予算現額 (円)	R4 決算額 (円)	方向性 (課題・予定等)	担当課
									R	R	R	R	R	計					
5 (3)	4 養育支援訪問事業	○	○		家事育児援助利用人数	9	7	13	C	C	C	c		1,715,000	1,580,500	引き続き、出生後早期の相談支援を行うとともに、ニーズの把握に努め、効率的な運営を図る。	こども家庭課		
5 (3)	5 子ども家庭総合支援拠点の整備・運営	○	○		開設箇所数	0	1	1	D	A	A	a	人員整備や要綱制定等の準備を終え、令和4年4月1日に開設に至った。	0	0	令和4年4月1日、拠点開設となったので、今後は着実な運営、拠点機能の更なる強化等を図る。	こども家庭課		
5 (3)	6 家庭児童相談				-	-	-	-	A	A	A	a	子どもの発達に関すること、学校生活(幼稚園、保育園等も含む)、家族関係などの相談に応じることで、相談者の不安軽減等を図ることができた。【相談件数】10,878件	0	0	引き続き、子どもの発達に関すること、学校生活、家族関係などの相談に応じていく。	こども家庭課		
5 (3)	7 ふれあい親子支援事業				-	-	-	-	B	B	B	b	育児不安が強く支援が必要な保護者に対し、相談支援を行い、不安の解消に努めた。新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながら、グループミーティングと個別対応の両方で事業を実施した。	0	0	今後も、継続して事業を実施し、児童虐待予防のため、育児不安の強い保護者を早期に支援し、育児機能の修復を図る。	健康づくり支援課		
5 (3)	8 保健師等による訪問指導				-	-	-	-	A	A	A	a	訪問による支援が必要な母子に対し、保健師等による訪問指導を行った。	0	0	今後も、継続して事業を実施し、育児不安の解消が図れるよう支援していく。	健康づくり支援課		
5 (3)	9 乳幼児健診未受診等育児支援訪問事業	○			-	-	-	-	A	A	A	a	訪問等により乳幼児健診未受診世帯に対して受診勧奨や育児支援を行った。	0	0	乳幼児健診未受診世帯に対して、受診勧奨や育児支援を行い、児童虐待予防、育児不安の解消を図っていく。	健康づくり支援課		
5 (3)	10 妊娠期からの虐待予防強化事業				-	-	-	-	A	A	A	a	県内の産婦人科医療機関等と連携し、妊娠期の段階から支援が必要とされる家庭を積極的に把握するとともに、訪問等を行い、早期に育児不安の解消を図った。	0	0	今後も、継続して事業を実施し、支援が必要とされる家庭を積極的に把握し、育児不安の解消が図れるよう支援していく。	健康づくり支援課		
5 (3)	11 どならない子育て練習講座				開催回数	5	2	5	C	C	C	c	保護者支援のプログラムとして、保護者が暴力や暴言を使わずに子どもを育てる技術を学ぶことができた。	14,000	6,720	保護者を対象として、講座の開催を行っていく。	こども家庭課		
5 (4)	1 児童発達支援センターの運営		○		一般相談件数	-	371	320	B	A	A	a	対面により子どもの心身の発達や障害に関する総合的な相談を行うことができた。	0	0	今後も保護者や関係機関からのさまざまな相談に応じ、適切な支援や福祉サービス、専門の相談機関に繋ぐ役割を果たしていくようにする。	療育支援課		
5 (4)	2 障害児通所支援事業の充実		○		重症心身障害児を主たる対象とする事業所数	2	2	3	C	C	C	c	事業所開所希望の者に事業所整備及び充実に向けた情報提供、相談及び助言等を行った。	0	0	引き続き、提供事業所を充実させるよう、各事業者等に情報提供、相談及び助言等の支援を行っていく。	療育支援課		
5 (4)	3 生活サポート事業				利用者数	128	74	220	C	C	C	c	サービスの利用にあたり補助を行っており、経過は順調であるが、新型コロナウイルスによる外出自粛等により利用が減ったものと思われる。	45,000,000	30,296,075	サービスの利用にあたり、その利用料の自己負担額の軽減を図るため所得に応じた補助を継続して行う。経済的負担の軽減が図れており、引き続き、計画達成に向けて努める。	障害者福祉課		

#### 4. 事業別達成状況等

【事業計画】…教育・保育や地域子ども・子育て支援事業に関する事業

【重点】…施策目標ごとに重点的に取り組む事業(すべての重点事業に目標事業量を設定している。)

【未来】…子どもの貧困に関する事業

【新規】…第2期計画から追加された事業

【達成状況(単年度)】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:事業実績なし E:事業終了

【達成状況(計画)】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:事業実績なし e:事業終了

基本 目標	No.	事業名	新規	重点	未来	目標 事業量	現状値 (H30)	実績値 (R4)	目標値	達成状況						実績評価 (事業内容)	R4 予算現額 (円)	R4 決算額 (円)	方向性 (課題・予定等)	担当課
										R	R	R	R	R	計					
	5 (4)	4 特別児童扶養手当				-	-	-	-	A	A	A	a	精神または身体に一定の障害がある20歳未満の児童を養育する父母等が国から受給する特別児童扶養手当の受給資格に係る各種届出等の事務処理を行い、児童の福祉の増進を図ることができた。	224,288	108,386	精神または身体に一定の障害がある20歳未満の児童を養育する父母等が国から受給する特別児童扶養手当の受給資格に係る各種届出等の事務処理を行うことにより児童の福祉の増進を図る。 【参考:支給額】311,631,540円 ※全額国から支給	こども政策課		
	5 (4)	5 障害児福祉手当				-	-	-	-	A	A	A	a	重度の障害児に対して、経済的及び精神的負担の軽減を図るため障害児福祉手当を支給した。 14,880円×371人=5,520,480円 14,850円×1,815人=26,952,750円	32,884,800	32,473,230	本手当は国からの法定受託事務であり、引き続き重度の障害児に対して、経済的及び精神的負担の軽減を図るため障害児福祉手当を支給していく。 引き続き、対象者への手当の周知に努める。	障害者福祉課		
	5 (4)	6 障害者等相談支援事業				利用者数	115	113	130	B	A	B	b	地域の障害児(者)が自立した生活を送ることができるよう、必要な助言及び支援を実施した。	55,706,000	53,325,800	引き続き、地域の障害児(者)が自立した生活を送ることができるよう、必要な助言及び支援を行う。	障害者福祉課		
	5 (4)	7 グループ指導会				開催回数	32	0	32	A	D	E	e	従来の対象者が児童発達支援センターの親子教室を利用することにより利用者数が大きく減少したことから令和3年度をもって事業を廃止した。	0	0	利用希望者が大きく減少したことから、R3年度をもって事業を廃止した。	こども家庭課		
	5 (4)	8 障害のある子どもに対する教職員研修事業				-	-	-	-	C	B	B	b	新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みながら、特別支援学級担任や特別支援教育コーディネーターだけでなく、管理職や通常の学級の担任、通級指導教室担当等を対象とした特別支援教育に係る研修を実施した。研修の内容に応じて、オンライン研修や集合型研修など柔軟に対応することができた。	85,000	0	研修を継続し、管理職や教職員の特別支援教育への理解を深める必要がある。そのため、教職員の経験段階や立場に応じて研修内容を精選し、演習や研究授業を取り入れるなど、充実した内容になるように計画する。特に、特別支援学級を初めて担当する教職員には重点的に研修を行い、特別支援教育への理解を深めることで、人材育成に取り組む。	教育センター		
	5 (4)	9 未熟児・長期療養児訪問指導				-	-	-	-	A	A	A	a	訪問による指導が必要な未熟児・長期療養児世帯に対し、保健師等による訪問指導を実施した。	0	0	今後も、継続して事業を実施し、育児不安の解消が図れるよう支援していく。	健康づくり支援課		
	5 (4)	10 未熟児養育医療給付				-	-	-	-	A	A	A	a	養育のため指定養育医療機関に入院加療が必要な未熟児等に対して、その養育に必要な医療給付を行う。	21,434,703	16,332,944	令和5年度以降も当事業を継続して実施することとし、対象となる保護者の経済的負担の軽減を図る。	健康管理課		
	5 (4)	11 自立支援医療(育成医療)給付				-	-	-	-	A	A	A	a	身体に障害のある児童に対して、健全育成・福祉の向上を図るため必要な医療の給付を行う。	7,548,604	3,581,569	令和5年度以降も当事業を継続して実施することとし、対象となる保護者の経済的負担の軽減を図る。	健康管理課		
	5 (4)	12 小児慢性特定疾病医療給付				-	-	-	-	A	A	A	a	小児慢性特定疾患のうち、国が指定した特定疾患について病気の治療研究を推進し、家族の経済的負担を軽減するため、必要な医療の給付を行う。	138,852,937	112,973,181	令和5年度以降も当事業を継続して実施することとし、対象となる保護者の経済的負担の軽減を図る。	健康管理課		
	5 (4)	13 特別支援教育の理解促進				-	-	-	-	B	C	B	b	「就学相談セミナー」を開催し、就学相談の流れについて保護者に説明をした。令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止としていた「発達障害セミナー」についても、2回実施することができた。また、特別支援学級の授業公開も開催することができた。特別支援教育推進委員会では、市立小・中学校の特別支援教育啓発資料「みんななかよく」ともにいきる」の活用状況を調査し、今後の活用について検討を行った。	0	0	「就学相談セミナー」や「発達障害セミナー」については、今後も継続して実施することで保護者や市民の理解・啓発に努める。特別支援学級の授業公開については、令和5年度は実施するが、今後の特別支援学級の設置状況等を鑑みながら継続の可否について検討を行う。	教育センター		

## 5. 教育・保育の量の見込みと確保方策実績

評価基準(保育比較値):実績値>必要量:A、実績値<必要量-1~-499:B、実績値<必要量-500~:C

全体確保量(見込み)	令和2年度実績				令和3年度実績				令和4年度実績				令和5年度実績				令和6年度実績								
	1号	2号		3号		1号	2号		3号		1号	2号		3号		1号	2号		3号						
		学校教育	左記以外	0歳	1・2歳		学校教育	左記以外	0歳	1・2歳		学校教育	左記以外	0歳	1・2歳		学校教育	左記以外	0歳	1・2歳	学校教育	左記以外	0歳	1・2歳	
必要量	4,086	1,256	2,927	421	2,178	4,037	1,240	2,884	416	2,150	4,003	1,227	2,855	413	2,122	3,934	1,205	2,796	412	2,101	3,870	1,184	2,755	411	2,090
他市町の子ども		570	21	1	4		570	21	1	4		570	21	1	4		570	21	1	4		570	21	1	4
必要量計(A)		5,912	2,948	422	2,182		5,847	2,905	417	2,154		5,800	2,876	414	2,126		5,709	2,817	413	2,105		5,624	2,776	412	2,094
必要量(認定実績数)	4,005	1,262	2,908	391	2,261	3,549	1,401	2,999	402	2,265	2,899	1,243	3,069	382	2,299				0	0				0	0
他市町の子ども(〃)		767	9	0	5		546	9	0	9		424	4	0	6		0	0	0	0		0	0	0	0
必要量計(A')		6,034	2,917	391	2,266		5,496	3,008	402	2,274		4,566	3,073	382	2,305		0	0	0	0		0	0	0	0
方策別実績	特定教育・保育施設	581	3,160	417	1,652	708	3,191	423	1,675	750	3,214	423	1,692				0	0	0			0	0	0	0
	他市町の子ども	(285)	(9)	0	(3)	(106)	(9)	0	(8)	(268)	(4)	0	(1)												
	確認を受けない幼稚園	6,195	-	-	-	6,090	-	-	-	5,850	-	-	-												
	他市町の子ども	(482)	-	-	-	(440)	-	-	-	(156)	-	-	-												
	特定地域型保育事業	-	-	103	382	-	-	110	409	-	-	108	391						0	0				0	0
	他市町の子ども	-	-	0	(2)	-	-	0	(1)	-	-	0	(5)												
	他市町の施設利用	477	27	3	13	441	17	2	5	407	24	21	12				0	0	0	0		0	0	0	0
	確保量実績計(B)	7,253	3,187	523	2,047	7,239	3,208	535	2,089	7,007	3,238	552	2,095				0	0	0	0		0	0	0	0
(B)-(A')		1,219	270	132	▲ 219		1,743	200	133	▲ 185		2,441	165	170	▲ 210		0	0	0	0		0	0	0	0
保育比較				183				148					125					0					0		
全体比較			1,402				1,891					2,566					0					0			
評価			A				A				A														

### 【4区域】

【A地区】 本庁・山田・芳野・古谷 確保量(見込み)	令和2年度実績				令和3年度実績				令和4年度実績				令和5年度実績				令和6年度実績								
	1号	2号		3号		1号	2号		3号		1号	2号		3号		1号	2号		3号						
		学校教育	左記以外	0歳	1・2歳		学校教育	左記以外	0歳	1・2歳		学校教育	左記以外	0歳	1・2歳		学校教育	左記以外	0歳	1・2歳	学校教育	左記以外	0歳	1・2歳	
必要量	-	-	1,356	195	1,009	-	-	1,336	192	996	-	-	1,323	191	983	-	-	1,295	191	973	-	-	1,276	190	968
他市町の子ども			1	1	1			1	1	1			1	1	1			1	1	1			1	1	1
必要量計(A)		0	1,357	196	1,010		0	1,337	193	997		0	1,324	192	984		0	1,296	192	974		0	1,277	191	969
必要量(認定実績数)	-	-	1,302	178	1,021	-	-	1,350	178	1,021	-	-	1,395	173	1,062	-	-	0	0	0	-	-	0	0	0
他市町の子ども(〃)			2	0	1			4	0	3			2	0	1			0	0	0			0	0	0
必要量計(A')		0	1,304	178	1,022		0	1,354	178	1,024		0	1,397	173	1,063		0	0	0	0		0	0	0	0
方策別実績	特定教育・保育施設	-	1,463	198	774	-	1,457	198	770	-	1,447	198	770				0	0	0			0	0	0	0
	他市町の子ども	-	(2)	0	(1)	-	(4)	0	(3)	-	(2)	0	(1)												
	確認を受けない幼稚園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-												
	他市町の子ども	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-												
	特定地域型保育事業	-	-	46	188	-	-	46	188	-	-	46	178						0	0				0	0
	他市町の子ども	-	-	0	0	-	-	0	0	-	-	0	0												
	他市町の施設利用	-	13	0	4	-	5	0	0	-	3	4	2				0	0	0	0		0	0	0	0
	確保量実績計(B)	0	1,476	244	966	0	1,462	244	958	0	1,450	248	950				0	0	0	0		0	0	0	0
(B)-(A')		0	172	66	▲ 56		0	108	66	▲ 66		0	53	75	▲ 113		0	0	0	0		0	0	0	0
保育比較				182				108				15						0					0		
全体比較			182				108				15						0					0			

## 5. 教育・保育の量の見込みと確保方策実績

評価基準(保育比較値):実績値>必要量:A、実績値<必要量-1~-499:B、実績値<必要量-500~:C

【B地区】 南古谷・高階 確保量(見込み)	令和2年度実績					令和3年度実績					令和4年度実績					令和5年度実績					令和6年度実績				
	1号	2号		3号		1号	2号		3号		1号	2号		3号		1号	2号		3号		1号	2号		3号	
		学校教育	左記以外	0歳	1・2歳		学校教育	左記以外	0歳	1・2歳		学校教育	左記以外	0歳	1・2歳		学校教育	左記以外	0歳	1・2歳		学校教育	左記以外	0歳	1・2歳
必要量	-	-	600	86	447	-	-	592	86	441	-	-	586	85	435	-	-	574	84	431	-	-	566	84	429
他市町の子ども	-	-	13	0	1	-	-	13	0	1	-	-	13	0	1	-	-	13	0	1	-	-	13	0	1
必要量計(A)	0	613	86	448	0	605	86	442	0	599	85	436	0	587	84	432	0	579	84	430					
必要量(認定実績数)	-	-	620	99	539	-	-	674	104	556	-	-	667	101	547	-	-	0	0	0	-	-	0	0	0
他市町の子ども(〃)	-	-	6	0	1	-	-	1	0	0	-	-	1	0	1	-	-	0	0	0	-	-	0	0	0
必要量計(A')	0	626	99	540	0	675	104	556	0	668	101	548	0	0	0	0	0	0	0	0					
方策別実績																									
特定教育・保育施設	-	-	650	84	332	-	-	687	87	352	-	-	687	87	352	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
他市町の子ども	-	-	(6)	0	(1)	-	-	(1)	0	0	-	-	(1)	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
確認を受けない幼稚園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
他市町の子ども	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特定地域型保育事業	-	-	-	32	113	-	-	-	32	113	-	-	-	29	105	-	-	-	0	0	-	-	-	0	0
他市町の子ども	-	-	-	0	0	-	-	-	0	0	-	-	-	0	(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
他市町の施設利用	-	-	7	1	2	-	-	5	2	1	-	-	6	5	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
確保量実績計(B)	0	657	117	447	0	692	121	466	0	693	121	462	0	0	0	0	0	0	0	0					
(B)-(A')	0	31	18	▲93	0	17	17	▲90	0	25	20	▲86	0	0	0	0	0	0	0	0					
保育比較			▲44				▲56				▲41				0				0						
全体比較			▲44				▲56				▲41				0				0						

【C地区】 福原・大東 確保量(見込み)	令和2年度実績					令和3年度実績					令和4年度実績					令和5年度実績					令和6年度実績				
	1号	2号		3号		1号	2号		3号		1号	2号		3号		1号	2号		3号		1号	2号		3号	
		学校教育	左記以外	0歳	1・2歳		学校教育	左記以外	0歳	1・2歳		学校教育	左記以外	0歳	1・2歳		学校教育	左記以外	0歳	1・2歳		学校教育	左記以外	0歳	1・2歳
必要量	-	-	334	48	248	-	-	329	48	246	-	-	325	47	242	-	-	319	47	240	-	-	314	47	239
他市町の子ども	-	-	2	0	0	-	-	2	0	0	-	-	2	0	0	-	-	2	0	0	-	-	2	0	0
必要量計(A)	0	336	48	248	0	331	48	246	0	327	47	242	0	321	47	240	0	316	47	239					
必要量(認定実績数)	-	-	365	37	258	-	-	364	43	256	-	-	356	42	249	-	-	0	0	0	-	-	0	0	0
他市町の子ども(〃)	-	-	0	0	1	-	-	1	0	3	-	-	0	0	0	-	-	0	0	0	-	-	0	0	0
必要量計(A')	0	365	37	259	0	365	43	259	0	356	42	249	0	0	0	0	0	0	0	0					
方策別実績																									
特定教育・保育施設	-	-	360	34	165	-	-	360	37	172	-	-	360	37	172	-	-	0	0	0	-	-	0	0	0
他市町の子ども	-	-	0	0	0	-	-	(1)	0	(2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
確認を受けない幼稚園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
他市町の子ども	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特定地域型保育事業	-	-	-	12	39	-	-	-	16	50	-	-	-	16	50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
他市町の子ども	-	-	-	0	(1)	-	-	-	0	(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
他市町の施設利用	-	-	5	0	2	-	-	4	0	1	-	-	7	8	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
確保量実績計(B)	0	365	46	206	0	364	53	223	0	367	61	224	0	0	0	0	0	0	0	0					
(B)-(A')	0	0	9	▲53	0	▲1	10	▲36	0	11	19	▲25	0	0	0	0	0	0	0	0					
保育比較			▲44				▲27				5				0				0						
全体比較			▲44				▲27				5				0				0						

## 5. 教育・保育の量の見込みと確保方策実績

評価基準(保育比較値):実績値>=必要量:A、実績値<必要量-1~-499:B、実績値<必要量-500~:C

【D地区】 霞ヶ関・川鶴・霞ヶ関北・名細	令和2年度実績				令和3年度実績				令和4年度実績				令和5年度実績				令和6年度実績								
	1号	2号		3号		1号	2号		3号		1号	2号		3号		1号	2号		3号						
		学校教育	左記以外	0歳	1・2歳		学校教育	左記以外	0歳	1・2歳		学校教育	左記以外	0歳	1・2歳		学校教育	左記以外	0歳	1・2歳					
必要量	-	-	637	92	474	-	-	627	90	467	-	-	621	90	462	-	-	608	90	457	-	-	599	90	454
他市町の子ども	-	-	5	0	2	-	-	5	0	2	-	-	5	0	2	-	-	5	0	2	-	-	5	0	2
必要量計(A)	0	642	92	476	0	632	90	469	0	626	90	464	0	613	90	459	0	604	90	456					
必要量(認定実績数)	-	-	621	77	443	-	-	611	77	432	-	-	651	66	441	-	-	0	0	0	-	-	0	0	0
他市町の子ども(〃)	-	-	1	0	2	-	-	3	0	3	-	-	1	0	0	-	-	0	0	0	-	-	0	0	0
必要量計(A')	0	622	77	445	0	614	77	435	0	652	66	441	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
方策別実績	特定教育・保育施設	-	687	101	381	-	687	101	381	-	720	101	398	-	0	0	0	-	0	0	0	-	0	0	0
	他市町の子ども	-	(1)		(1)	-	(3)	0	(3)	-	(1)	0	0	-				-				-			
	確認を受けない幼稚園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	他市町の子ども	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	特定地域型保育事業	-	-	13	42	-	-	16	58	-	-	17	58	-	-	0	0	-	-	0	0	-	-	0	0
	他市町の子ども	-	-		(1)	-	-	0	0	-	-	0	0	-	-			-	-			-	-		
	他市町の施設利用	-	2	2	5	-	3	0	3	-	8	4	3	-				-				-			
確保量実績計(B)	0	689	116	428	0	690	117	442	0	728	122	459	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(B)-(A')	0	67	39	▲17	0	76	40	7	0	76	56	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保育比較	89				123				150				0				0								
全体比較	89				123				150				0				0								

## 6. 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策実績

評価基準:達成率90%以上:A、達成率70%以上90%未満:B、達成率70%未満:C、事業実績なし:D、事業終了:E

※事業により他の評価基準適用有

事業名	単位	令和2年度				令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度									
		見込量(A)	確保実績(B)	B-A	達成率	評価	見込量(A)	確保実績(B)	B-A	達成率	評価	見込量(A)	確保実績(B)	B-A	達成率	評価	見込量(A)	確保実績(B)	B-A	達成率	評価						
利用者支援事業(母子保健型)	箇所	見込量(A)	2				見込量(A)	2				見込量(A)	2				見込量(A)	2				見込量(A)	2				
		確保実績(B)	2				確保実績(B)	2				確保実績(B)	2				確保実績(B)	2				確保実績(B)	2				
		B-A	0	A			B-A	0	A			B-A	0	A			B-A	0	A			B-A	0	A			
		達成率	100.0%				達成率	100.0%				達成率	100.0%				達成率	0.0%				達成率	0.0%				
利用者支援事業(基本型・特定型)	箇所	見込量(A)	4				見込量(A)	5				見込量(A)	5				見込量(A)	5				見込量(A)	5				
		確保実績(B)	4				確保実績(B)	4				確保実績(B)	4				確保実績(B)	4				確保実績(B)	4				
		B-A	0	A			B-A	▲1	B			B-A	▲1	B			B-A	0	A			B-A	0	A			
		達成率	100.0%				達成率	80.0%				達成率	80.0%				達成率	0.0%				達成率	0.0%				
時間外保育事業(延長保育事業)	人	見込量(A)	2,374				見込量(A)	2,342				見込量(A)	2,319				見込量(A)	2,266				見込量(A)	2,237				
		確保実績(B)	2,374				確保実績(B)	2,342				確保実績(B)	2,319				確保実績(B)	0				確保実績(B)	0				
		利用実績	2,032	A			利用実績	1,960	A			利用実績	2,092	A			利用実績	0				利用実績	0				
		B-A	0				B-A	0				B-A	0				B-A	0				B-A	0				
達成率	100.0%				達成率	100.0%				達成率	100.0%				達成率	0.0%					達成率	0.0%					
放課後児童健全育成事業(学童保育事業)	低学年	人	見込量(A)	2,331				見込量(A)	2,434				見込量(A)	2,546				見込量(A)	2,630				見込量(A)	2,746			
			確保実績(B)	2,984				確保実績(B)	3,135				確保実績(B)	3,318				確保実績(B)	0				確保実績(B)	0			
			利用実績	2,286	A			利用実績	2,370	A			利用実績	2,518	A			利用実績	0				利用実績	0			
			B-A	653				B-A	701				B-A	772				B-A	0				B-A	0			
	達成率	128.0%				達成率	128.8%				達成率	130.3%				達成率	0.0%					達成率	0.0%				
	高学年	人	見込量(A)	691				見込量(A)	725				見込量(A)	748				見込量(A)	779				見込量(A)	810			
			確保実績(B)	880				確保実績(B)	920				確保実績(B)	928				確保実績(B)	0				確保実績(B)	0			
			利用実績	663	A			利用実績	691	A			利用実績	714	A			利用実績	0				利用実績	0			
B-A			189				B-A	195				B-A	180				B-A	0				B-A	0				
達成率	127.4%				達成率	126.9%				達成率	124.1%				達成率	0.0%					達成率	0.0%					
子育て短期支援事業	トワイライトステイ事業	人日	見込量(A)	500				見込量(A)	505				見込量(A)	510				見込量(A)	515				見込量(A)	520			
			確保実績(B)	77				確保実績(B)	29				確保実績(B)	93				確保実績(B)	0				確保実績(B)	0			
			利用実績	77	C			利用実績	29	C			利用実績	93	C			利用実績	0				利用実績	0			
			B-A	▲423				B-A	▲476				B-A	▲417				B-A	0				B-A	0			
	達成率	15.4%				達成率	5.7%				達成率	18.2%				達成率	0.0%				達成率	0.0%					
	ショートステイ事業	人日	見込量(A)	50				見込量(A)	55				見込量(A)	60				見込量(A)	70				見込量(A)	80			
			確保実績(B)	179				確保実績(B)	134				確保実績(B)	126				確保実績(B)	0				確保実績(B)	0			
			利用実績	179	A			利用実績	134	A			利用実績	126	A			利用実績	0				利用実績	0			
B-A			129				B-A	79				B-A	66				B-A	0				B-A	0				
達成率	358.0%				達成率	243.6%				達成率	210.0%				達成率	0.0%					達成率	0.0%					
乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん事業、産婦・新生児訪問指導) ※実績出数	人	見込量(A)	2,432				見込量(A)	2,400				見込量(A)	2,379				見込量(A)	2,370				見込量(A)	2,359				
		確保実績(B)	2,266				確保実績(B)	2,158				確保実績(B)	2,158				確保実績(B)	0				確保実績(B)	0				
		利用実績※(A')	2,386	A			利用実績※(A')	2,207	A			利用実績※(A')	2,164	A			利用実績※(A')	0				利用実績※(A')	0				
		B-A'	▲120				B-A'	▲49				B-A'	▲6				B-A'	0				B-A'	0				
達成率	95.0%				達成率	97.8%				達成率	99.7%				達成率	0.0%					達成率	0.0%					
養育支援訪問事業 その他要支援児童の支援に資する事業	養育支援訪問事業	人	見込量(A)	16				見込量(A)	16				見込量(A)	16				見込量(A)	16				見込量(A)	16			
			確保実績(B)	16				確保実績(B)	16				確保実績(B)	16				確保実績(B)	0				確保実績(B)	0			
			利用実績	5	A			利用実績	8	A			利用実績	7	A			利用実績	0				利用実績	0			
			B-A	0				B-A	0				B-A	0				B-A	0				B-A	0			
	達成率	100.0%				達成率	100.0%				達成率	100.0%				達成率	0.0%					達成率	0.0%				
	要保護児童等	人	見込量(A)	705				見込量(A)	750				見込量(A)	795				見込量(A)	795				見込量(A)	795			
			確保実績(B)	705				確保実績(B)	750				確保実績(B)	795				確保実績(B)	0				確保実績(B)	0			
			利用実績	719	A			利用実績	767	A			利用実績	779	A			利用実績	0				利用実績	0			
B-A			0				B-A	0				B-A	0				B-A	0				B-A	0				
達成率	100.0%				達成率	100.0%				達成率	100.0%				達成率	0.0%					達成率	0.0%					

## 6. 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策実績

評価基準:達成率90%以上:A、達成率70%以上90%未満:B、達成率70%未満:C、事業実績なし:D、事業終了:E

※事業により他の評価基準適用有

事業名		単位	令和2年度				令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
地域子育て支援拠点事業		人回	見込量(A)	96,816	評価	見込量(A)	95,335	評価	見込量(A)	94,170	評価	見込量(A)	93,244	評価	見込量(A)	92,627	評価					
			確保実績(B)	92,702		確保実績(B)	91,284		確保実績(B)	90,194		確保実績(B)	0		確保実績(B)	0						
			利用実績	28,483	A	利用実績	48,226	A	利用実績	55,301	A	利用実績	0		利用実績	0						
			B-A	▲4,114		B-A	▲4,051		B-A	▲3,976		B-A			B-A							
			達成率	95.8%		達成率	95.8%		達成率	95.8%		達成率	0.0%		達成率	0.0%						
一時預かり事業		幼稚園等	1号認定等による定期的な利用	人日	見込量(A)	15,598	評価	見込量(A)	21,088	評価	見込量(A)	23,994	評価	見込量(A)	23,515	評価	見込量(A)	23,044	評価			
					確保実績(B)	13,854		確保実績(B)	14,814		確保実績(B)	11,544		確保実績(B)			確保実績(B)					
					利用実績	13,854	B	利用実績	14,814	B	利用実績	11,544	C	利用実績			利用実績					
					B-A	▲1,744		B-A	▲6,274		B-A	▲12,450		B-A			B-A					
		達成率	88.8%		達成率	70.2%		達成率	48.1%		達成率	0.0%		達成率	0.0%							
		一時預かり事業	2号認定等による一時的な利用	人日	見込量(A)	235,988	評価	見込量(A)	227,294	評価	見込量(A)	221,984	評価	見込量(A)	217,656	評価	見込量(A)	214,321	評価			
					確保実績(B)	155,116		確保実績(B)	178,330		確保実績(B)	187,279		確保実績(B)			確保実績(B)					
					利用実績	155,116	C	利用実績	178,330	B	利用実績	187,279	B	利用実績			利用実績					
					B-A	▲80,872		B-A	▲48,964		B-A	▲34,705		B-A			B-A					
		達成率	65.7%		達成率	78.5%		達成率	84.4%		達成率	0.0%		達成率	0.0%							
		保育所等	一時預かり・一時的保育事業	人日	見込量(A)	12,100	評価	見込量(A)	13,180	評価	見込量(A)	13,590	評価	見込量(A)	13,540	評価	見込量(A)	13,590	評価			
					確保実績(B)	58,860		確保実績(B)	60,280		確保実績(B)	60,460		確保実績(B)			確保実績(B)					
利用実績	6,895				A	利用実績	6,764	A	利用実績	7,461	A	利用実績			利用実績							
B-A	46,760					B-A	47,100		B-A	46,870		B-A			B-A							
達成率	486.4%		達成率	457.4%		達成率	444.9%		達成率	0.0%		達成率	0.0%									
病児保育事業等		人日	見込量(A)	1,350	評価	見込量(A)	1,350	評価	見込量(A)	1,350	評価	見込量(A)	1,350	評価	見込量(A)	1,350	評価					
			確保実績(B)	1,287		確保実績(B)	1,218		確保実績(B)	1,408		確保実績(B)			確保実績(B)							
			利用実績	450	A	利用実績	680	A	利用実績	849	A	利用実績			利用実績							
			B-A	▲63		B-A	▲132		B-A	58		B-A			B-A							
			達成率	95.3%		達成率	90.2%		達成率	104.3%		達成率	0.0%		達成率	0.0%						
ファミリー・サポート・センター事業(子育て援助活動支援事業)		5歳児まで	人日	見込量(A)	2,738	評価	見込量(A)	2,684	評価	見込量(A)	2,631	評価	見込量(A)	2,579	評価	見込量(A)	2,528	評価				
				確保実績(B)	1,829		確保実績(B)	1,400		確保実績(B)	1,069		確保実績(B)			確保実績(B)						
				利用実績	1,829	C	利用実績	1,400	C	利用実績	1,069	C	利用実績			利用実績						
				B-A	▲909		B-A	▲1,284		B-A	▲1,562		B-A			B-A						
				達成率	66.8%		達成率	52.2%		達成率	40.6%		達成率	0.0%		達成率	0.0%					
		就学後	人日	見込量(A)	6,756	評価	見込量(A)	6,930	評価	見込量(A)	7,108	評価	見込量(A)	7,291	評価	見込量(A)	7,479	評価				
				確保実績(B)	4,419		確保実績(B)	4,134		確保実績(B)	4,296		確保実績(B)			確保実績(B)						
				利用実績	4,419	C	利用実績	4,134	C	利用実績	4,296	C	利用実績			利用実績						
				B-A	▲2,337		B-A	▲2,796		B-A	▲2,812		B-A			B-A						
				達成率	65.4%		達成率	59.7%		達成率	60.4%		達成率	0.0%		達成率	0.0%					
妊婦健康診査		人回	見込量(A)	30,071	評価	見込量(A)	29,810	評価	見込量(A)	29,691	評価	見込量(A)	29,560	評価	見込量(A)	29,417	評価					
			確保実績(B)	27,920		確保実績(B)	26,735		確保実績(B)	25,526		確保実績(B)			確保実績(B)							
			利用実績	27,920	A	利用実績	26,735	B	利用実績	25,526	B	利用実績見込			利用実績							
			B-A	▲2,151		B-A	▲3,075		B-A	▲4,165		B-A			B-A							
			達成率	92.8%		達成率	89.7%		達成率	86.0%		達成率	0.0%		達成率	0.0%						
実費徴収に係る補足給付を行う事業		-	見込量(A)	1,392	評価	見込量(A)	1,374	評価	見込量(A)	1,361	評価	見込量(A)	1,336	評価	見込量(A)	1,314	評価					
			確保実績(B)	1,392		確保実績(B)	1,374		確保実績(B)	1,361		確保実績(B)			確保実績(B)							
			利用実績	702	A	利用実績	690	A	利用実績	654	A	利用実績			利用実績							
			B-A	0		B-A	0		B-A	0		B-A			B-A							
			達成率	100.0%		達成率	100.0%		達成率	100.0%		達成率	0.0%		達成率	0.0%						
多様な主体が本制度に参入することを促進する事業		-	見込量(A)	-	評価	見込量(A)	-	評価	見込量(A)	-	評価	見込量(A)	-	評価	見込量(A)	-	評価					
			確保実績(B)	-		確保実績(B)	-		確保実績(B)	-		確保実績(B)	-		確保実績(B)	-						
			利用実績	-	D	利用実績	-	D	利用実績	-	D	利用実績	-		利用実績	-						
			B-A	-		B-A	-		B-A	-		B-A	-		B-A	-						
			達成率	-		達成率	-		達成率	-		達成率	-		達成率	-						

## 7. 時間外保育事業(延長保育事業)の量の見込みと確保方策実績

評価基準:達成率90%以上:A、達成率70%以上90%未満:B、達成率70%未満:C、事業実績なし:D、事業終了:E

		令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)
全体	量の見込み(A)	2,374	2,342	2,319	2,266	2,237
	確保量実績(B)	2,374	2,342	2,319	0	0
	実利用人数	2,032	1,960	2,092	0	0
	(B)-(A)	0	0	0		
評価		A	A	A		

### 【4区域】

		令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)
【A地区】 本庁・山田・ 芳野・古谷	量の見込み(A)	1,033	1,019	1,009	986	973
	確保量実績(B)	1,033	1,019	1,009	0	0
	実利用人数	974	995	918	0	0
	(B)-(A)	0	0	0		
		令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)
【B地区】 南古谷・高階	量の見込み(A)	452	446	441	431	426
	確保量実績(B)	452	446	441	0	0
	実利用人数	387	382	530	0	0
	(B)-(A)	0	0	0		
		令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)
【C地区】 福原・大東	量の見込み(A)	305	301	298	291	287
	確保量実績(B)	305	301	298	0	0
	実利用人数	251	185	220	0	0
	(B)-(A)	0	0	0		
		令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)
【D地区】 霞ヶ関・霞ヶ 関北・川鶴・ 名細	量の見込み(A)	584	576	571	558	551
	確保量実績(B)	584	576	571	0	0
	実利用人数	420	398	424	0	0
	(B)-(A)	0	0	0		

## 8. 放課後児童健全育成事業(学童保育事業)の量の見込みと確保方策実績

<量の見込みと確保方策> 区域:32区域(小学校区)

評価基準(1-3年生):確保量-実利用者数>=0:A、確保量-実利用者数=-1~-199:B、確保量-実利用者数=-200~:C

評価基準(4-6年生):確保量-実利用者数>=0:A、確保量-実利用者数=-1~-199:B、確保量-実利用者数=-200~:C

評価基準(全体):確保量-実利用者数>=0:A、確保量-実利用者数=-1~-199:B、確保量-実利用者数=-200~:C

		令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)
全体	量の見込み(1-3年生)	2,331	2,434	2,546	2,630	2,746
	(A) 量の見込み(4-6年生)	691	725	748	779	810
	(A) 合計	3,022	3,159	3,294	3,409	3,556
	実利用者数(1-3年生)※1	2,286	2,370	2,518	0	0
	(A') 実利用者数(4-6年生)※1	663	691	714	0	0
	(A') 合計	2,949	3,061	3,232	0	0
	(B) 確保量(1-3年生)	2,984	3,135	3,318	0	0
	(B) 確保量(4-6年生)	880	920	928	0	0
	(B) 合計	3,864	4,055	4,246	0	0
	(B)-(A')	915	994	1,014	0	0
	運営基準適合	33/33	33/33	33/33	33/33	33/33
	評価(1-3年生)	A	A	A		
	評価(4-6年生)	A	A	A		
評価(全体)	A	A	A			

※1 当該年度当初の申込者数(但し、利用日数による按分有)

		令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)					令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)
川越第一小	量の見込み(1-3年生)	82	92	102	111	113	新宿小	(A) 量の見込み(1-3年生)	79	87	91	91	93		
	(A) 量の見込み(4-6年生)	33	27	28	29	34		(A) 量の見込み(4-6年生)	20	23	22	26	28		
	(A) 合計	115	119	130	140	147		(A) 合計	99	110	113	117	121		
	(A') 実利用者数(1-3年生)	78	81	93				(A') 実利用者数(1-3年生)	73	63	60				
	(A') 実利用者数(4-6年生)	31	24	26				(A') 実利用者数(4-6年生)	19	17	15				
	(A') 合計	109	105	119	0	0		(A') 合計	92	80	75	0	0		
	(B) 確保量(1-3年生)	86	94	95				(B) 確保量(1-3年生)	106	105	107				
	(B) 確保量(4-6年生)	35	27	26				(B) 確保量(4-6年生)	27	28	26				
	基準適合	(B) 合計	121	121	121	0		0	(B) 合計	133	133	133	0	0	
	○	(B)-(A')	12	16	2	0		0	○	(B)-(A')	41	53	58	0	0
川越小	量の見込み(1-3年生)	66	75	67	72	70	大塚小	(A) 量の見込み(1-3年生)	55	63	68	71	78		
	(A) 量の見込み(4-6年生)	12	15	26	22	24		(A) 量の見込み(4-6年生)	21	15	18	19	21		
	(A) 合計	78	90	93	94	94		(A) 合計	76	78	86	90	99		
	(A') 実利用者数(1-3年生)	66	69	61				(A') 実利用者数(1-3年生)	50	65	85				
	(A') 実利用者数(4-6年生)	12	14	24				(A') 実利用者数(4-6年生)	19	15	23				
	(A') 合計	78	83	85	0	0		(A') 合計	69	80	108	0	0		
	(B) 確保量(1-3年生)	133	131	113				(B) 確保量(1-3年生)	74	82	111				
	(B) 確保量(4-6年生)	24	26	44				(B) 確保量(4-6年生)	28	20	29				
	基準適合	(B) 合計	157	157	157	0		0	(B) 合計	102	102	140	0	0	
	○	(B)-(A')	79	74	72	0		0	○	(B)-(A')	33	22	32	0	0
中央小	量の見込み(1-3年生)	60	63	61	68	74	泉小	(A) 量の見込み(1-3年生)	59	66	74	78	80		
	(A) 量の見込み(4-6年生)	19	16	19	19	18		(A) 量の見込み(4-6年生)	7	7	8	8	9		
	(A) 合計	79	79	80	87	92		(A) 合計	66	73	82	86	89		
	(A') 実利用者数(1-3年生)	66	68	66				(A') 実利用者数(1-3年生)	67	70	81				
	(A') 実利用者数(4-6年生)	21	17	21				(A') 実利用者数(4-6年生)	8	7	9				
	(A') 合計	87	85	87	0	0		(A') 合計	75	77	90	0	0		
	(B) 確保量(1-3年生)	112	117	112				(B) 確保量(1-3年生)	83	84	84				
	(B) 確保量(4-6年生)	35	30	35				(B) 確保量(4-6年生)	10	9	9				
	基準適合	(B) 合計	147	147	147	0		0	(B) 合計	93	93	93	0	0	
	○	(B)-(A')	60	62	60	0		0	○	(B)-(A')	18	16	3	0	0

## 8. 放課後児童健全育成事業(学童保育事業)の量の見込みと確保方策実績

<量の見込みと確保方策> 区域:32区域(小学校区)

評価基準(1-3年生):確保量-実利用者数>=0:A、確保量-実利用者数=-1~-199:B、確保量-実利用者数=-200~:C

評価基準(4-6年生):確保量-実利用者数>=0:A、確保量-実利用者数=-1~-199:B、確保量-実利用者数=-200~:C

評価基準(全体):確保量-実利用者数>=0:A、確保量-実利用者数=-1~-199:B、確保量-実利用者数=-200~:C

		令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)			令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)
仙波小	(A) 量の見込み(1-3年生)	129	141	146	149	153	月越小	(A) 量の見込み(1-3年生)	45	39	48	53	54
	(A) 量の見込み(4-6年生)	37	38	41	46	49		(A) 量の見込み(4-6年生)	7	9	7	8	6
	(A) 合計	166	179	187	195	201		(A) 合計	52	48	55	61	60
	(A) 実利用者数(1-3年生)	129	147	139				(A) 実利用者数(1-3年生)	42	41	58		
	(A) 実利用者数(4-6年生)	37	40	39				(A) 実利用者数(4-6年生)	7	10	9		
	(A) 合計	166	187	178	0	0		(A) 合計	49	51	67	0	0
基準適合	(B) 確保量(1-3年生)	144	162	161			(B) 確保量(1-3年生)	44	115	124			
	(B) 確保量(4-6年生)	41	44	45			(B) 確保量(4-6年生)	7	27	18			
○	(B) 合計	185	206	206	0	0	(B) 合計	51	142	142	0	0	
○	(B)-(A)	19	19	28	0	0	○	(B)-(A)	2	91	75	0	0
武蔵野小	(A) 量の見込み(1-3年生)	83	85	93	100	113	今成小	(A) 量の見込み(1-3年生)	48	53	55	66	68
	(A) 量の見込み(4-6年生)	19	21	22	25	23		(A) 量の見込み(4-6年生)	15	22	26	25	27
	(A) 合計	102	106	115	125	136		(A) 合計	63	75	81	91	95
	(A) 実利用者数(1-3年生)	77	89	95				(A) 実利用者数(1-3年生)	42	48	48		
	(A) 実利用者数(4-6年生)	18	22	23				(A) 実利用者数(4-6年生)	13	20	22		
	(A) 合計	95	111	118	0	0		(A) 合計	55	68	70	0	0
基準適合	(B) 確保量(1-3年生)	98	97	98			(B) 確保量(1-3年生)	49	45	43			
	(B) 確保量(4-6年生)	23	24	23			(B) 確保量(4-6年生)	15	19	21			
○	(B) 合計	121	121	121	0	0	(B) 合計	64	64	64	0	0	
○	(B)-(A)	26	10	3	0	0	○	(B)-(A)	9	▲4	▲6	0	0
芳野小	(A) 量の見込み(1-3年生)	21	19	24	24	22	寺尾小	(A) 量の見込み(1-3年生)	61	70	78	78	79
	(A) 量の見込み(4-6年生)	22	20	13	13	14		(A) 量の見込み(4-6年生)	8	9	9	12	14
	(A) 合計	43	39	37	37	36		(A) 合計	69	79	87	90	93
	(A) 実利用者数(1-3年生)	16	25	29				(A) 実利用者数(1-3年生)	68	62	65		
	(A) 実利用者数(4-6年生)	17	26	16				(A) 実利用者数(4-6年生)	9	8	7		
	(A) 合計	33	51	45	0	0		(A) 合計	77	70	72	0	0
基準適合	(B) 確保量(1-3年生)	23	23	31			(B) 確保量(1-3年生)	86	86	87			
	(B) 確保量(4-6年生)	25	25	17			(B) 確保量(4-6年生)	11	11	10			
○	(B) 合計	48	48	48	0	0	(B) 合計	97	97	97	0	0	
○	(B)-(A)	15	▲3	3	0	0	○	(B)-(A)	20	27	25	0	0
古谷小	(A) 量の見込み(1-3年生)	69	64	67	76	78	福原小	(A) 量の見込み(1-3年生)	94	96	94	93	98
	(A) 量の見込み(4-6年生)	12	17	17	16	16		(A) 量の見込み(4-6年生)	18	22	26	29	31
	(A) 合計	81	81	84	92	94		(A) 合計	112	118	120	122	129
	(A) 実利用者数(1-3年生)	67	65	74				(A) 実利用者数(1-3年生)	86	94	99		
	(A) 実利用者数(4-6年生)	12	17	19				(A) 実利用者数(4-6年生)	16	22	28		
	(A) 合計	79	82	93	0	0		(A) 合計	102	116	127	0	0
基準適合	(B) 確保量(1-3年生)	97	90	91			(B) 確保量(1-3年生)	86	115	110			
	(B) 確保量(4-6年生)	17	24	23			(B) 確保量(4-6年生)	17	26	31			
○	(B) 合計	114	114	114	0	0	(B) 合計	103	141	141	0	0	
○	(B)-(A)	35	32	21	0	0	○	(B)-(A)	1	25	14	0	0
南古谷小	(A) 量の見込み(1-3年生)	138	142	136	136	143	大東東小	(A) 量の見込み(1-3年生)	73	82	92	92	98
	(A) 量の見込み(4-6年生)	28	26	32	31	30		(A) 量の見込み(4-6年生)	13	14	14	16	19
	(A) 合計	166	168	168	167	173		(A) 合計	86	96	106	108	117
	(A) 実利用者数(1-3年生)	152	148	155				(A) 実利用者数(1-3年生)	71	76	82		
	(A) 実利用者数(4-6年生)	31	27	37				(A) 実利用者数(4-6年生)	13	13	12		
	(A) 合計	183	175	192	0	0		(A) 合計	84	89	94	0	0
基準適合	(B) 確保量(1-3年生)	162	165	158			(B) 確保量(1-3年生)	80	80	82			
	(B) 確保量(4-6年生)	33	30	37			(B) 確保量(4-6年生)	14	14	12			
○	(B) 合計	195	195	195	0	0	(B) 合計	94	94	94	0	0	
○	(B)-(A)	12	20	3	0	0	○	(B)-(A)	10	5	0	0	0
牛子小	(A) 量の見込み(1-3年生)	68	64	69	70	73	大東西小	(A) 量の見込み(1-3年生)	94	93	92	93	95
	(A) 量の見込み(4-6年生)	20	32	27	30	30		(A) 量の見込み(4-6年生)	36	36	38	35	36
	(A) 合計	88	96	96	100	103		(A) 合計	130	129	130	128	131
	(A) 実利用者数(1-3年生)	70	65	73				(A) 実利用者数(1-3年生)	85	71	72		
	(A) 実利用者数(4-6年生)	21	32	28				(A) 実利用者数(4-6年生)	32	27	30		
	(A) 合計	91	97	101	0	0		(A) 合計	117	98	102	0	0
基準適合	(B) 確保量(1-3年生)	103	89	96			(B) 確保量(1-3年生)	134	134	132			
	(B) 確保量(4-6年生)	30	44	37			(B) 確保量(4-6年生)	52	52	54			
○	(B) 合計	133	133	133	0	0	(B) 合計	186	186	186	0	0	
○	(B)-(A)	42	36	32	0	0	○	(B)-(A)	69	88	84	0	0

## 8. 放課後児童健全育成事業(学童保育事業)の量の見込みと確保方策実績

<量の見込みと確保方策> 区域:32区域(小学校区)

評価基準(1-3年生):確保量-実利用者数>=0:A、確保量-実利用者数=-1~-199:B、確保量-実利用者数=-200~:C

評価基準(4-6年生):確保量-実利用者数>=0:A、確保量-実利用者数=-1~-199:B、確保量-実利用者数=-200~:C

評価基準(全体):確保量-実利用者数>=0:A、確保量-実利用者数=-1~-199:B、確保量-実利用者数=-200~:C

		令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)			令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)
高階小	(A) 量の見込み(1-3年生)	84	95	104	118	129	霞ヶ関小	(A) 量の見込み(1-3年生)	79	86	88	93	103
	(A) 量の見込み(4-6年生)	30	35	36	36	41		(A) 量の見込み(4-6年生)	31	27	25	24	26
	(A) 合計	114	130	140	154	170		(A) 合計	110	113	113	117	129
	(A) 実利用者数(1-3年生)	88	109	124				(A) 実利用者数(1-3年生)	75	92	91		
	(A) 実利用者数(4-6年生)	32	40	43				(A) 実利用者数(4-6年生)	30	29	26		
	(A) 合計	120	149	167	0	0		(A) 合計	105	121	117	0	0
(B) 確保量(1-3年生)	94	124	156			(B) 確保量(1-3年生)	110	116	119				
(B) 確保量(4-6年生)	34	45	54			(B) 確保量(4-6年生)	43	37	34				
基準適合	(B) 合計	128	169	210	0	0	基準適合	153	153	153	0	0	
○	(B)-(A)	8	20	43	0	0	○	(B)-(A)	48	32	36	0	0
高階南小	(A) 量の見込み(1-3年生)	56	58	67	71	78	霞ヶ関南小	(A) 量の見込み(1-3年生)	22	23	24	22	18
	(A) 量の見込み(4-6年生)	20	24	23	29	29		(A) 量の見込み(4-6年生)	6	3	2	2	2
	(A) 合計	76	82	90	100	107		(A) 合計	28	26	26	24	20
	(A) 実利用者数(1-3年生)	48	45	51				(A) 実利用者数(1-3年生)	35	42	37		
	(A) 実利用者数(4-6年生)	17	18	18				(A) 実利用者数(4-6年生)	9	6	3		
	(A) 合計	65	63	69	0	0		(A) 合計	44	48	40	0	0
(B) 確保量(1-3年生)	77	74	78			(B) 確保量(1-3年生)	72	81	85				
(B) 確保量(4-6年生)	28	31	27			(B) 確保量(4-6年生)	20	11	7				
基準適合	(B) 合計	105	105	105	0	0	基準適合	92	92	92	0	0	
○	(B)-(A)	40	42	36	0	0	○	(B)-(A)	48	44	52	0	0
高階北小	(A) 量の見込み(1-3年生)	64	71	73	82	84	霞ヶ関北小	(A) 量の見込み(1-3年生)	78	77	80	79	84
	(A) 量の見込み(4-6年生)	34	32	30	31	34		(A) 量の見込み(4-6年生)	36	42	41	39	41
	(A) 合計	98	103	103	113	118		(A) 合計	114	119	121	118	125
	(A) 実利用者数(1-3年生)	63	63	66				(A) 実利用者数(1-3年生)	68	60	67		
	(A) 実利用者数(4-6年生)	33	29	27				(A) 実利用者数(4-6年生)	32	33	35		
	(A) 合計	96	92	93	0	0		(A) 合計	100	93	102	0	0
(B) 確保量(1-3年生)	68	72	74			(B) 確保量(1-3年生)	116	110	112				
(B) 確保量(4-6年生)	36	32	30			(B) 確保量(4-6年生)	54	60	58				
基準適合	(B) 合計	104	104	104	0	0	基準適合	170	170	170	0	0	
○	(B)-(A)	8	12	11	0	0	○	(B)-(A)	70	77	68	0	0
高階西小	(A) 量の見込み(1-3年生)	81	83	83	87	93	霞ヶ関東小	(A) 量の見込み(1-3年生)	48	47	49	49	57
	(A) 量の見込み(4-6年生)	36	48	52	55	57		(A) 量の見込み(4-6年生)	7	0	0	0	0
	(A) 合計	117	131	135	142	150		(A) 合計	55	47	49	49	57
	(A) 実利用者数(1-3年生)	64	60	57				(A) 実利用者数(1-3年生)	45	59	65		
	(A) 実利用者数(4-6年生)	28	34	35				(A) 実利用者数(4-6年生)	6	0	0		
	(A) 合計	92	94	92	0	0		(A) 合計	51	59	41	0	0
(B) 確保量(1-3年生)	86	79	76			(B) 確保量(1-3年生)	45	52	142				
(B) 確保量(4-6年生)	38	45	48			(B) 確保量(4-6年生)	7	0	0				
基準適合	(B) 合計	124	124	124	0	0	基準適合	52	52	142	0	0	
○	(B)-(A)	32	30	32	0	0	○	(B)-(A)	1	▲7	101	0	0
霞ヶ関西小	(A) 量の見込み(1-3年生)	100	99	100	86	80	広谷小	(A) 量の見込み(1-3年生)	50	51	55	54	52
	(A) 量の見込み(4-6年生)	27	26	27	33	28		(A) 量の見込み(4-6年生)	16	17	15	17	18
	(A) 合計	127	125	127	119	108		(A) 合計	66	68	70	71	70
	(A) 実利用者数(1-3年生)	102	101	105				(A) 実利用者数(1-3年生)	52	50	57		
	(A) 実利用者数(4-6年生)	27	27	28				(A) 実利用者数(4-6年生)	17	16	15		
	(A) 合計	129	128	133	0	0		(A) 合計	69	66	72	0	0
(B) 確保量(1-3年生)	108	109	108			(B) 確保量(1-3年生)	75	74	78				
(B) 確保量(4-6年生)	29	28	29			(B) 確保量(4-6年生)	24	25	21				
基準適合	(B) 合計	137	137	137	0	0	基準適合	99	99	99	0	0	
○	(B)-(A)	8	9	4	0	0	○	(B)-(A)	30	33	27	0	0
川越西小	(A) 量の見込み(1-3年生)	50	54	53	49	52	山田小	(A) 量の見込み(1-3年生)	97	94	104	102	109
	(A) 量の見込み(4-6年生)	14	12	15	13	15		(A) 量の見込み(4-6年生)	30	28	25	27	26
	(A) 合計	64	66	68	62	67		(A) 合計	127	122	129	129	135
	(A) 実利用者数(1-3年生)	48	57	55				(A) 実利用者数(1-3年生)	106	117	129		
	(A) 実利用者数(4-6年生)	13	13	15				(A) 実利用者数(4-6年生)	33	35	31		
	(A) 合計	61	70	70	0	0		(A) 合計	139	152	160	0	0
(B) 確保量(1-3年生)	77	81	77			(B) 確保量(1-3年生)	127	128	134				
(B) 確保量(4-6年生)	22	18	22			(B) 確保量(4-6年生)	39	38	32				
基準適合	(B) 合計	99	99	99	0	0	基準適合	166	166	166	0	0	
○	(B)-(A)	38	29	29	0	0	○	(B)-(A)	27	14	6	0	0

## 8. 放課後児童健全育成事業(学童保育事業)の量の見込みと確保方策実績

<量の見込みと確保方策> 区域:32区域(小学校区)

評価基準(1-3年生):確保量-実利用者数>=0:A、確保量-実利用者数=-1~-199:B、確保量-実利用者数=-200~:C

評価基準(4-6年生):確保量-実利用者数>=0:A、確保量-実利用者数=-1~-199:B、確保量-実利用者数=-200~:C

評価基準(全体):確保量-実利用者数>=0:A、確保量-実利用者数=-1~-199:B、確保量-実利用者数=-200~:C

		令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)			令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)
名細小	量の見込み(1-3年生)	83	91	98	103	99	民間放課後 児童クラブ	量の見込み(1-3年生)	34	29	28	28	28
	(A) 量の見込み(4-6年生)	25	24	25	23	26		(A) 量の見込み(4-6年生)	6	12	14	13	12
	(A) 合計	108	115	123	126	125		(A) 合計	40	41	42	41	40
	実利用者数(1-3年生)	84	80	98				(A) 実利用者数(1-3年生)	34	23	22		
	(A') 実利用者数(4-6年生)	25	21	25				(A) 実利用者数(4-6年生)	3	11	7		
	(A') 合計	109	101	123	0	0		(A') 合計	37	34	29	0	0
	(B) 確保量(1-3年生)	96	99	117				(B) 確保量(1-3年生)	39	28	32		
(B) 確保量(4-6年生)	29	26	30			(B) 確保量(4-6年生)	3	14	10				
基準適合	(B) 合計	125	125	147	0	0	基準適合	(B) 合計	42	42	42	0	0
○	(B)-(A')	16	24	24	0	0	○	(B)-(A')	5	8	13	0	0
上戸小	量の見込み(1-3年生)	81	82	83	86	98							
	(A) 量の見込み(4-6年生)	26	26	25	28	27							
	(A) 合計	107	108	108	114	125							
	実利用者数(1-3年生)	69	65	59									
	(A') 実利用者数(4-6年生)	22	21	18									
	(A') 合計	91	86	77	0	0							
	(B) 確保量(1-3年生)	94	94	95									
(B) 確保量(4-6年生)	30	30	29										
基準適合	(B) 合計	124	124	124	0	0							
○	(B)-(A')	33	38	47	0	0							

## 9. 地域子育て支援拠点事業の量の見込みと確保方策実績

<量の見込みと確保方策実績> 区域:12区域

評価基準:確保量-実利用者数>=0:A、確保量-実利用者数=-1~-99:B、確保量-実利用者数=-100~:C

※人数は利用延べ人数

		令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)
合計	量の見込み(A)	96,816	95,335	94,170	93,244	92,627
	実利用人数(A')※	28,483	48,226	55,301	0	0
	確保量(B)	92,702	91,284	90,194	0	0
	(実施施設数)	24	24	24	0	0
	(B)-(A)	▲ 4,114	▲ 4,051	▲ 3,976		
	(B)-(A')	64,219	43,058	34,893	0	0
評価		A	A	A		

		令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)
本庁	量の見込み(A)	44,590	43,908	43,372	42,947	42,663
	実利用人数(A')※	11,079	24,406	32,243		
	確保量(B)	44,590	43,908	43,372		
	(実施施設数)(箇所)	8	8	8		
	(B)-(A)	0	0	0		
	(B)-(A')	33,511	19,502	11,129	0	0
芳野	量の見込み(A)	1,483	1,460	1,442	1,428	1,418
	実利用人数(A')※	683	1,219	1,347		
	確保量(B)	1,483	1,460	1,442		
	(実施施設数)(箇所)	1	1	1		
	(B)-(A)	0	0	0		
	(B)-(A')	800	241	95	0	0
古谷	量の見込み(A)	2,132	2,099	2,073	2,052	2,038
	実利用人数(A')※	688	1,432	1,433		
	確保量(B)	2,132	2,099	2,099		
	(実施施設数)(箇所)	1	1	1		
	(B)-(A)	0	0	26		
	(B)-(A')	1,444	667	666	0	0

		令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)
南古谷	量の見込み(A)	2,688	2,647	2,615	2,589	2,572
	実利用人数(A')※	558	1,131	1,258		
	確保量(B)	2,688	2,647	2,615		
	(実施施設数)(箇所)	1	1	1		
	(B)-(A)	0	0	0		
	(B)-(A')	2,130	1,516	1,357	0	0
高階	量の見込み(A)	7,138	7,029	6,943	6,875	6,830
	実利用人数(A')※	3,237	4,219	3,848		
	確保量(B)	7,138	7,029	6,943		
	(実施施設数)(箇所)	2	2	2		
	(B)-(A)	0	0	0		
	(B)-(A')	3,901	2,810	3,095	0	0
福原	量の見込み(A)	4,172	4,108	4,058	4,018	3,991
	実利用人数(A')※	1,737	2,381	2,306		
	確保量(B)	4,172	4,108	4,058		
	(実施施設数)(箇所)	2	2	2		
	(B)-(A)	0	0	0		
	(B)-(A')	2,435	1,727	1,752	0	0
大東	量の見込み(A)	12,144	11,958	11,812	11,696	11,619
	実利用人数(A')※	4,201	5,328	4,833		
	確保量(B)	12,144	11,958	11,812		
	(実施施設数)(箇所)	2	2	2		
	(B)-(A)	0	0	0		
	(B)-(A')	7,943	6,630	6,979	0	0
霞ヶ関	量の見込み(A)	10,012	9,859	9,738	9,642	9,578
	実利用人数(A')※	3,453	4,462	3,958		
	確保量(B)	10,012	9,859	9,738		
	(実施施設数)(箇所)	3	3	3		
	(B)-(A)	0	0	0		
	(B)-(A')	6,559	5,397	5,780	0	0
霞ヶ関北	量の見込み(A)	2,846	2,802	2,768	2,740	2,722
	実利用人数(A')※	(675)	(778)	(1,039)		
	確保量(B)	0	0	0		
	(実施施設数)(箇所)	0	0	0		
	(B)-(A)	▲ 2,846	▲ 2,802	▲ 2,768		
	(B)-(A')	675	778	1,039	0	0

		令和2年度実績(人)	令和3年度実績(人)	令和4年度実績(人)	令和5年度実績(人)	令和6年度実績(人)
名細	量の見込み(A)	7,601	7,485	7,393	7,320	7,272
	実利用人数(A')※	2,607	3,402	3,722		
	確保量(B)	7,601	7,485	7,393		
	(実施施設数)(箇所)	3	3	3		
	(B)-(A)	0	0	0		
	(B)-(A')	4,994	4,083	3,671	0	0
山田	量の見込み(A)	742	731	722	715	710
	実利用人数(A')※	240	246	353		
	確保量(B)	742	731	722		
	(実施施設数)(箇所)	1	1	1		
	(B)-(A)	0	0	0		
	(B)-(A')	502	485	369	0	0
川鶴	量の見込み(A)	1,268	1,249	1,234	1222	1214
	実利用人数(A')※	(273)	(276)	(438)		
	確保量(B)	0	0	0		
	(実施施設数)(箇所)	0	0	0		
	(B)-(A)	▲ 1,268	▲ 1,249	▲ 1,234		
	(B)-(A')	273	276	438	0	0

※実利用人数は、当該地区施設の延べ利用人数(市内他地区在住者利用を含む)

※霞ヶ関北地区、川鶴地区の実利用人数は、市内各拠点施設における当該地区在住者の延べ利用人数